

東京都武蔵野市



吉祥寺駅周辺



ムーバス



武蔵野市役所



井の頭公園入り口



表紙写真は吉祥寺駅前ハーモニカ横丁

成蹊大学と社会調査士課程室



成蹊学園本館



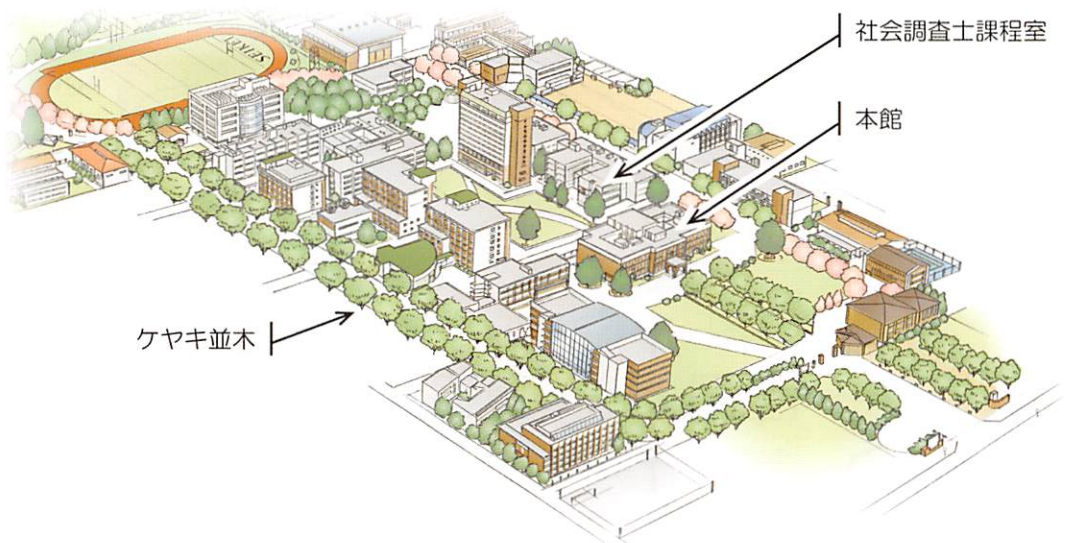
ケヤキ並木



社会調査士課程室のある1号館



社会調査士課程室



作業風景



調査票を作成する



武蔵野市役所でサンプリング



送付セットをつくる



送付セット



督促状



調査票を発送する



たくさん返送されますように



データを入力する



データを分析する



武蔵大学相澤ゼミと合同発表会



懇親会



調査票用の代表者写真

履 修 者



木村真由子班



服部知佐子班



川村なつき班



長田萌利班



島本朝慈班



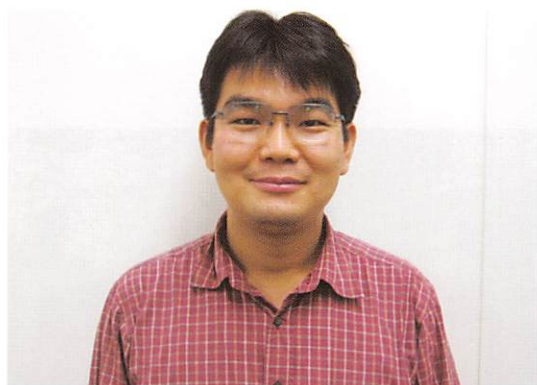
森麻実班



宮里羽里班



大熊麻理枝班



相澤真一助手



白井健 TA



成蹊大学社会調査実習 2009 年度報告書
——第 4 回 地域と生活についての武蔵野市民調査——

成蹊大学社会調査士課程 監修

小林盾, 相澤真一 編集

目 次

第Ⅰ部 この調査について

A 調査の概要	小林盾, 相澤真一	1
B 統計用語	小林盾	9
C 履修者一覧		12

第Ⅱ部 調査結果

武蔵野市について

第 1 章 ハーモニカ横丁	木村真由子班	13
第 2 章 コミュニティセンター	服部知佐子班	17
第 3 章 ムーバス	川村なつき班	21
第 4 章 寺院, 神社, 教会の利用	長田萌利班	25

生活について

第 5 章 環境問題	島本朝慈班	29
第 6 章 中学時代	森麻実班	33
第 7 章 結婚	宮里羽理班	37
第 8 章 家電	大熊麻理枝班	41

第Ⅲ部 資料

A 基礎集計表, 平均の比較, 相関係数		45
B 自由回答		68
C 調査票と督促状		71

はじめに

本書は、「第4回地域と生活についての武蔵野市民調査」の報告書です。成蹊大学文学部現代社会学科の「社会調査実習」という授業の一環として、2009年7月に東京都武蔵野市で実施しました。2006年度にはじまり、今回が4回目となります。

調査では、人びとが生活や地域についてどのように考えているのかを、明らかにすることを目的としました。そこで、成蹊大学のある武蔵野市で、22～69歳の市民300人を住民基本台帳から無作為に選んで対象として、郵送調査を行いました。有効回収数215人、有効回収率71.7%です。

授業は、教員2名（小林盾・相澤真一）と学生33名で進めました。社会調査士課程の実習科目でもあり、全員が課程履修者でした。学生は関心のあるテーマごとに班に分かれて、調査票作成からデータ分析まで行います。毎週宿題が出るため、授業時間外での活動のほうが長かったようです。

以下は、「この調査について」「調査結果」「資料」という3つの部で構成されています。調査結果では、武蔵野市の人びとの姿を、さまざまな角度から浮かびあがらせることを目指しました。今回武蔵野市を事例として得られた知見は、地域活性化への課題など、他の地域でも当てはまることもあるかもしれません。今後も成蹊大学社会調査士課程では、同様の調査を続けていき、成果を地域社会に積極的に還元していきたいと考えています。

この調査を実施し、報告書を作成するにあたって、多くの方々からご協力いただきました。はじめに、回答してくださった方々に深く感謝いたします。おかげで、地域と生活についての貴重なデータを集めることができました。住民基本台帳の閲覧では、武蔵野市役所環境生活部戸籍住民課の方々にお世話になりました。

成蹊大学文学部の先生方（とりわけ現代社会学科の先生方）、高瀬正弘氏、菅谷真弓氏、堀江友子氏、熊谷秀城氏はじめ成蹊大学教務部の方々には、社会調査士課程の運営環境を整えていただきました。成蹊大学総務部広報課の方々には、写真を提供していただきました。報告書の作成では田嶋優さん、山崎梨奈さん、早田由布子さんに手伝ってもらいました。記して感謝いたします。

なお、この報告書は武蔵野市役所、市内図書館、成蹊大学図書館、成蹊大学ホームページでもご覧いただけます。

2010年10月 成蹊大学社会調査士課程

成蹊大学文学部現代社会学科 准教授 小林盾

成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤助手 相澤真一

A 調査の概要

小林盾，相澤真一

第 1 節 調査の概要

(1) 調査名

第 4 回 地域と生活についての武蔵野市民調査。

(2) 調査実施者，調査実施責任者

実施者：成蹊大学社会調査士課程。

実施責任者：小林盾（成蹊大学文学部現代社会学科 准教授），相澤真一（成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤助手）。

(3) 調査方法と調査期間（詳細は第 4 節参照）

郵送調査を 2009 年 7/9 木曜日（調査票発送）～8/26（最後の調査票到着）におこなった。返送期限は 7/21 火曜日（前日が月曜祝日）。督促状を 7/18 土曜日に送付した。

(4) 母集団

2009 年 12 月 31 日時点で満 22～69 歳の武蔵野市民男女（1940 年 1 月 1 日～1987 年 12 月 31 日生まれ）。

(5) 計画標本

300 人。

(6) 抽出方法（詳細は第 3 節参照）

二段無作為抽出法。地点として 6 つの丁を，人口規模を考慮して系統抽出した。そのうえで，各地点から 50 人を，住民基本台帳から系統抽出した。

(7) 有効回収数，有効回収率（詳細は第 5 節参照）

215 人，71.7%。

(8) 謝礼

500 円の図書カード。調査票に同封して先渡しとした。

第2節 調査の目的

この調査の目的は、人びとが地域の中でどのように生活しており、地域についてどのように考えているのかを明らかにすることにある。現代社会では、グローバル化が進む中で、ややもすれば地域社会との人びとの関わりが少なくなっているかもしれないからである。

そのために、成蹊大学のある東京都武蔵野市を、事例として取りあげた。武蔵野市は、東京都心部の近郊住宅地でありながら、吉祥寺という商業地域もある。この点で、都市部の縮図といえるかもしれない。なお、この調査は成蹊大学社会調査士課程における教育の一環であり、社会調査実習という授業の中で実施された。

第3節 標本の抽出方法

(1) 地点の抽出

丁を単位とした。武蔵野市の全 51 丁のうち、すでに調査対象となった 24 丁を除いて、27 丁から 6 丁を系統抽出した（人口規模を考慮した）。

(2) 個人の抽出

武蔵野市役所にて住民基本台帳を閲覧して、計画標本 300 人、予備標本 10 人の合計 310 人を系統抽出した。各地点から 50 人ずつだが、境南町 2 丁目のみ予備標本 10 人をふくめて 60 人とした。

抽出間隔は、各地点の人口におうじて 20 人から 50 人とした。スタート番号は、あらかじめ各地点ごとに、抽出間隔の範囲内でランダムに準備した。

サンプリングの手続きは、6/16 に相澤が武蔵野市役所にておこなった。閲覧申出書、誓約書、学部長による調査実施証明書、調査票、顔写真のついた身分証明書を提出した。

サンプリング作業は、2009 年 6 月 24 日（水）午前 10 時から午後 4 時まで、教員 2 人（小林盾、相澤真一）と学生 5 人で行った。1 時間を単位として、教員 1 人と学生 1 人がペアとなった。

第4節 調査の実施方法

(1) 郵送調査

調査票、返信用封筒（切手貼付済み）、謝礼を封入して、封筒にて送信した（木曜日に送付して週末に届くようにした）。回収は匿名で行った。また、督促状を葉書で全員に送付した（返送期日直前の土曜日に送付した）。

なお、事前の告知や過去の報告書の同封は、先行研究から回収率をさげることが分かっているため、おこなわなかった。

(2) 無効票、調査拒否、予備標本の使用

無効票はなかった。

調査拒否は 4 票あった。受け取り拒否として返送された。そこで、予備標本を 4 票使用した。

(3) 問い合わせ

電話で 1 件あった。7/10 成蹊学園広報課に「市役所で手続きを踏んで実施しているとはいえ、アンケート用紙が突然届いたので、びっくりした」とのことであった。

(4) データ入力

2 人一組となり、2 時間でほぼ 20 票分を入力した。入力後、別の組がチェックを行った。入力フォーマットは、相澤がエクセルで作成した。

(5) データクリーニング

無回答には「999」を割りふった。○が指定より多い場合は、サイコロを使用して選んだ（以上エディティング）。その後、アフターコーディングとロジカルチェックを行った。

第 5 節 回収状況

(1) 回収率

71.7%であった（300 人に発送して有効回答が 215 人）。2006 年度の第 1 回収率調査では、51.5%（206 人）、2007 年の第 2 回収調査では 66.5%（266 人）、2008 年の第 3 回収調査では 74.0%（296 人）であった。

なお、これまでの回収率の変化と要因について、数理社会学会大会で報告された（小林盾「回収率 70%への挑戦：郵送調査の可能性」第 47 回数理社会学会大会報告要旨集収録，2009 年 3 月 8 日，京都産業大学）。

(2) 性別、年齢別の回収率

表のとおりとなった。ただし、性別と年齢不明が 1 ケース、性別不明が 2 ケース、年齢不明が 5 ケースあったため、性別または年齢不明 8 ケースを除いた。

ほぼすべての年齢で、女性のほうが回収率が高かった。とくに、50 代で差が大きかった。なお、30 代女性で 103.7%となったのは、年齢の誤解答のためであろう。

(3) 時系列での回収数

グラフのとおりとなった。督促状を 1 回送付し、効果はあったようである。

第 6 節 東京都武蔵野市について

東京都武蔵野市は東京 23 区の西側にあり、都庁所在地の新宿から約 12km の西方に位置する。住宅地が多いが、各駅周辺には商業施設、市北部には市役所を中心に野外スポーツ施設

や公園、南部には井の頭（いのがしら）公園がある。

武蔵野市には、JR 中央線の駅が西から順に、武蔵境、三鷹、吉祥寺の 3 つある。吉祥寺駅から新宿駅へは JR 中央線で約 15 分であり、渋谷駅へは京王井の頭線で約 16 分である。

市に自治会や町内会がなく、かわりに市民が企画運営する「コミュニティセンター」がある。コミュニティバス「ムーバス」は、通常のバスが通っていない地域をカバーしており、同種のサービスの先駆けとなった。

人口は約 13 万人、世帯数は約 6 万である。1970 年頃から、ほぼ横ばいで推移している。人口密度は約 12,000 人（平方キロメートルあたり）であり、これは市町村別で全国 3 位である（1 位は埼玉県蕨市、2 位は東京都 23 区）。産業別では、第 1 次産業従事者が 1%以下、第 2 次産業従事者が 1 割、第 3 次産業従事者が 8 割以上となっている。

なお、武蔵野市や吉祥寺に関する書籍は、数多く出版されている。武蔵野市発行のものである、『統計でみる武蔵野市』が毎年発行されており、人口など基礎的な情報が掲載されている。

『2007 武蔵野市市勢要覧』は、市制施行 60 周年を記念して発行され、これまでの市の歴史や現在の姿が掲載されている。吉祥寺については、『吉祥寺スタイル：楽しい街の 50 の秘密』（三浦展、2007 年、文芸春秋）や『きちぼん』（きちぼん出版プロジェクト、2006 年、ラトルズ）などがある。

第 7 節 成蹊大学社会調査士課程について

成蹊大学文学部現代社会学科では、2004 年度から社会調査士課程を設置して、社会調査士資格の取得に対応している。学生は 1 年次から 3 年次まで 6 つの授業を履修することで、資格を取得できる。社会調査士課程室を中心に授業がおこなわれ、助手が学習をサポートしている。

この調査は、3 年次配当の社会調査実習において、授業の一環として実施された。2006 年度に開始された。授業は毎週木曜 3 限（1：10～2：40）に社会調査士課程室で行われ、1 年間つづいた。

第8節 表とグラフ

(1) 日程

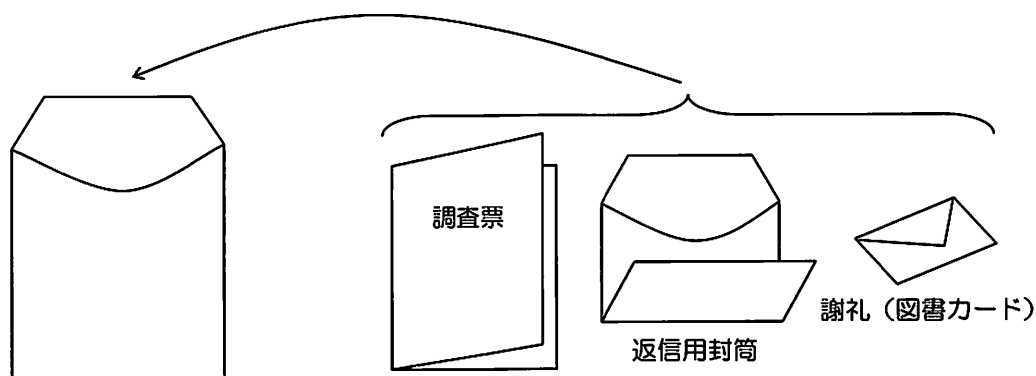
	授業	授業外の作業
2009 年 4/9	前期授業開始 (7/16 まで)	
4/16～	テーマを決める	
5/7～	質問を作る	
5/21～	フィールドに行く	
6/4～	調査票を作成する	
6/24		武蔵野市役所にてサンプリング
7/2～	発送作業	発送作業
7/9		調査票を発送
7/16		督促状を送付
7/20～		データ入力
7/21		返送期日
8/26		最後の調査票が届く
9/24	後期授業開始 (1/14 まで), 集計する (分布, 平均, 標準偏差)	データリリース, 調査の概要と基礎集 計表を配布
10/1～	比較する (平均の比較)	
10/15～	関連をもとめる (相関係数)	
10/29～	報告書を執筆する	
11/12～	インタビューをおこなう	
12/17	報告書原稿の提出	
2010 年 1/21	武蔵大学相澤ゼミと合同発表会, 懇 親会	

(2) 地点の抽出

	抽出された地点	抽出方法
第 1 回調査 (2006 年度)	吉祥寺南町 2 丁目, 吉祥寺北町 5 丁目, 中町 1 丁 目, 西久保 1 丁目, 緑町 2 丁目, 境 1 丁目, 境南 町 5 丁目, 桜堤 2 丁目	丁を単位としてランダム サンプリング (人口規模 を考慮しない)
第 2 回調査 (2007 年度)	吉祥寺東町 2 丁目, 吉祥寺南町 4 丁目, 吉祥寺本 町 3 丁目, 吉祥寺北町 4 丁目, 八幡町 1 丁目, 関 前 2 丁目, 境 3 丁目, 境南町 4 丁目	丁を単位として系統抽出 (人口規模を考慮しな い)
第 3 回調査 (2008 年度)	吉祥寺東町 3 丁目, 吉祥寺南町 5 丁目, 吉祥寺本 町 4 丁目, 吉祥寺北町 3 丁目, 中町 3 丁目, 緑町 3 丁目, 境 2 丁目, 境南町 3 丁目	丁を単位として系統抽出 (人口規模を考慮した)
第 4 回調査 (2009 年度)	吉祥寺東町 4 丁目, 吉祥寺本町 1 丁目, 吉祥寺北 町 2 丁目, 西久保 3 丁目, 関前 3 丁目, 境南町 2 丁目	丁を単位として系統抽出 (人口規模を考慮した)

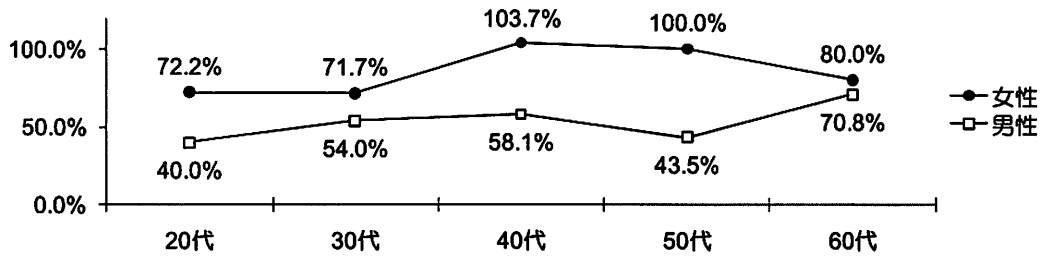
(3) 郵送調査の仕様と作業内容

	仕様	作業内容
調査票	A3 用紙 2 枚に両面印刷（業者依頼）。厚口、水色の冊子。	表紙に赤スタンプで「図書カードが同封されています」。
送付封筒	「社会調査士課程室」名入り角 2 号封筒。	表にスタンプで「調査依頼在中」。宛て先シールと 140 円切手を貼付。送付日 7/9 を記入。
返信封筒	「社会調査士課程室」名入り角 2 号封筒。宛て先を「社会調査士課程室」と印刷済み。	表にスタンプで「返送期日～月～日」と押印してから、期日を赤ペンで記入。140 円切手と両面テープを貼付。2 つ折り。
督促状葉書	官製葉書。	文面をコピー機で印刷。宛て先シールを貼付。下線部 2 か所を蛍光黄色ペンで強調。
謝礼	500 円の図書カード。紙ケース入り。	
留守番電話	7/9～8/31 設置。	「こちらは成蹊大学社会調査士課程室です。開室時間は、月曜日と木曜日の、午前 10 時から午後 5 時です。ご用件があるかたは、ピーという発信音のあとに残してください」と録音。
大学ホームページ	7/9 以降にアナウンス。	「新着情報・お知らせ」欄に「社会調査士課程室でアンケート調査を実施」として調査票第 1 ページ（PDF ファイル）へとリンク。



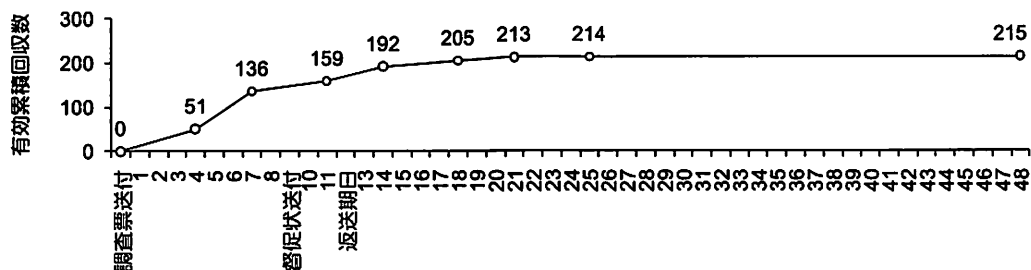
(4) 性別、年齢別の有効回収数と有効回収率（カッコ内）（性別年齢不明 8 ケース除く）

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	合計
男性	8 人 (40.0%)	27 人 (54.0%)	18 人 (58.1%)	10 人 (43.5%)	17 人 (70.8%)	80 人 (54.7%)
女性	26 人 (72.2%)	33 人 (71.7%)	28 人 (103.7%)	24 人 (100.0%)	16 人 (80.0%)	131 人 (85.6%)
合計	34 人 (60.7%)	60 人 (62.5%)	47 人 (81.0%)	34 人 (72.3%)	33 人 (75.0%)	208 人 (69.1%)

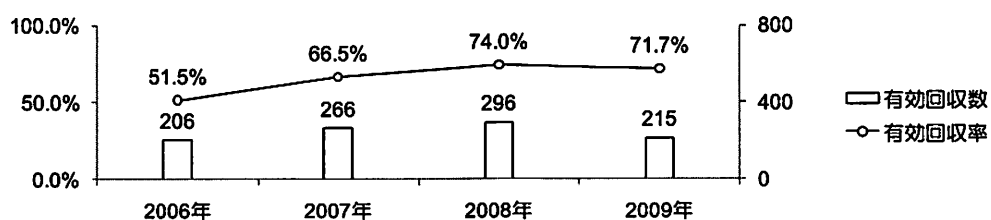


(5) 時系列での有効回収数

		日数	有効回収数	有効累積回収数	有効回収率
調査票送付	7/9 (木)	0	0	0	0.0%
	7/13 (月)	4	51	51	17.0%
	7/16 (木)	7	85	136	45.3%
督促状送付	7/18 (土)	9			
	7/20 (月)	11	23	159	53.0%
返送期日	7/21 (火)	12			
	7/23 (木)	14	33	192	64.0%
	7/27 (月)	18	13	205	68.3%
	7/30 (木)	21	8	213	71.0%
	8/3 (月)	25	1	214	71.3%
最後の調査票到着	8/26 (水)	48	1	215	71.7%



(6) これまでの有効回収数と有効回収率 (2006～8年計画標本 400, 2009年 300)



B 統計用語

小林盾

1 母集団と標本

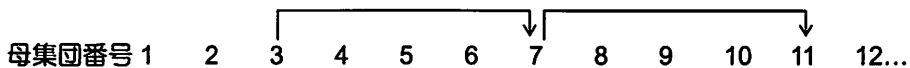
調査で知りたい人の全体を、母集団とよぶ。予算、時間、人員などに制限があるときは、母集団の一部を、標本として調査する。この調査では、母集団である 22～69 歳の武蔵野市民は約 9 万人おり、標本である調査対象者は 300 人であった。

2 無作為抽出（ランダムサンプリング）と有意抽出

標本の各個人を同じ確率で選ぶことを、無作為抽出する（ランダムサンプリングする）という。標本が無作為抽出されたなら、調査対象者（標本）は、たとえ人数が少なくても、全体（母集団）の偏らない縮図とみなすことができる。無作為抽出されていないとき、「有意抽出された」という。この調査は、標本を無作為抽出している。

3 系統抽出法

無作為抽出をするための簡便な方法に、系統抽出法がある。これは、母集団から標本を等間隔に選んでいく方法である（ただし完全な無作為抽出法にはならない）。まず、1 人 1 人に母集団番号を振ってから、スタート番号を無作為に決めて、最初の標本とする。そのあとで、スタート番号から等間隔に、残りの標本を選ぶ。たとえば、スタート番号が 3 で、間隔が 4 であれば、つぎのように母集団番号 3, 7, 11, ... が標本として選ばれる。



この調査では、住民基本台帳から調査対象者を選ぶときに、系統抽出法を用いた。地点ごとに、スタート番号を 24、間隔を 30 などとした。

4 平均

平均は、ある質問（変数という）を 1 つの数字で代表させて、いわば重心を表す。つぎの式で計算される。値が 1 と 0 なら、平均は割合（または比率）とよばれ、% で表せる。

$$\text{平均} = \frac{\text{個人1の値} + \text{個人2の値} + \dots}{\text{合計人数}}$$

5 標準偏差

標準偏差は、ある変数の「散らばり」の度合いを1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、0以上の値になる。

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\frac{(\text{個人1の値} - \text{平均})^2 + (\text{個人2の値} - \text{平均})^2 + \dots}{\text{合計人数} - 1}}$$

6 相関係数

相関係数とは、年齢と家族人数など、2つの質問がどれくらい関連しているのかを、1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、-1から1の間となる。

$$\text{相関係数} = \frac{(\text{個人1の変数1の値} - \text{変数1の平均}) \times (\text{個人1の変数2の値} - \text{変数2の平均}) + \dots}{\text{変数1の標準偏差} \times \text{変数2の標準偏差} \times (\text{合計人数} - 1)}$$

もし相関係数が-0.4などマイナスであれば、片方が増えると他方は減ることになる（たとえば年をとるほど家族が減る）。もし相関係数が0.4などプラスであれば、片方が増えると他方も増える（年をとるほど家族が増える）。

本文では、相関係数がつぎのような表で表現されている（対角線はつねに1であり、右上半分は左下半分と同じとなるので省略してある）。第1行の1は「1 図書館利用」を表す。

ここでたとえば、1 図書館利用と2 市への愛着の関連をみると、相関係数が0.103となっている。したがって、図書館をよく利用する人ほど、武蔵野市に愛着をもっていることが分かる。

相関係数（*有意確率 5%未満, **1%未満）			
	1	2	3
1 図書館利用			
2 市への愛着	0.103		
3 市への満足	0.040	0.468*	

7 有意確率

有意確率は、3%や1%など小さいほど、標本での関連や差が大きいことを表す。統計学では一般に、有意確率が5%未満のときに、関連や差が十分に大きくて、母集団でも関連や差

があることが保証される。

たとえば、上の表で2市への愛着と3市への満足の関連は、相関係数 0.468 で、有意確率 5%未満であった。したがって、市に愛着がある人ほど市に満足しているし、この関連は十分に強いことが分かる。そのような場合、「有意に関連している」と表現される。

C 履修者一覧

担当教員

小林盾（文学部現代社会学科准教授）、相澤真一（文学部現代社会学科非常勤助手）

TA

白井健（文学部現代社会学科 4 年）

履修者（文学部現代社会学科 3 年生 33 名）

荒井 裕介	若本 綾香
五十嵐 千紘	五ノ井 詩織
石井 彩子	作田 絵梨
大熊 麻理枝（班長）	島本 朝慈（班長）
太田 理恵	鈴木 里奈
長田 萌利（班長）	関口 納吾
加藤 里絵	堤 香奈子
川村 なつき（班長）	橋本 朋美
木下 珠冬	服部 知佐子（班長）
木村 彩子	藤島 美季
木村 真由子（班長）	藤田 知子
栗山 玲依	細田 昇平
小林 由明	松田 康平
駒林 薫子	美根 徹也
小山 智	宮里 羽理（班長）
森 麻実（班長）	茂木 愛未
矢野 ゆり	

第1章 ハーモニカ横丁

——今夜もほろ酔い——

木村真由子（班長）、栗山玲依（調査票担当）、駒林薫子（実査担当）、関口納吾（分析担当）

第1節 問題関心

この章では、人びとがハーモニカ横丁にどのようなイメージを持っているかを、飲み屋街という観点から調べる。ハーモニカ横丁は吉祥寺駅前にある商店街で、戦後の闇市のなごりを残している。約100店舗が連なる、洋服店、生活雑貨、老舗の和菓子屋などがあるなかで、居酒屋の数が一番多い。

ハーモニカ横丁の起源は、終戦直後の闇市という。正式名称は「吉祥寺北口駅前商店街連合会」で、4つの商店街から成り立っており、土地所有者は月窓寺である。1953年、戦後のハーモニカ横丁の総店舗数は150以上あったが、1996年にかけて減った。これは、戦後直後の間口の狭い店が減り、一店舗あたりの店舗面積が増えたためという。その後マスコミに注目されるようになり、以前はあまり店舗として利用されていなかった建物の2階部分も利用され始めた。

このように、居酒屋を中心にレトロとモダンが融合したところが、ハーモニカ横丁の魅力といえるだろう。居酒屋はもともと男性に人気があるので、以下の仮説を立てた。

仮説1：男性ほど、ハーモニカ横丁は夜に活気があると感じるだろう。

仮説2：夜に活気があると感じている人ほど、ハーモニカ横丁にわくわくするし、これからも残ってほしいと考えているだろう。

第2節 集計結果

問1で「あなたはこれまで、吉祥寺駅前のハーモニカ横丁にいったことがありますか（○

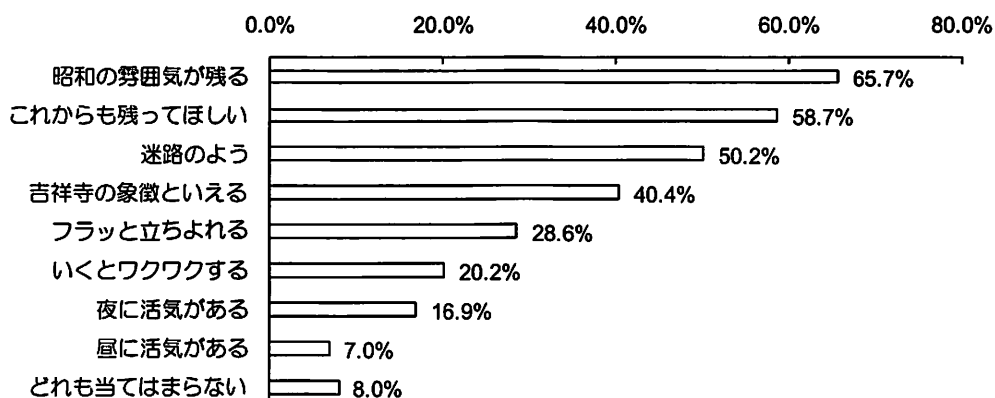


メンバー



ハーモニカ横丁入り口

問 2 あなたは、ハーモニカ横丁についてどのようなイメージを持っていますか（〇はいくつでも）



は1つ)」と質問した。すると、92.9%とほとんどの人に経験があった。

つづいて問2で、「あなたは、ハーモニカ横丁についてどのようなイメージを持っていますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「フラッと立ち寄れる」「迷路のよう」「昭和の雰囲気が残る」「昼に活気がある」「夜に活気がある」「行くとワクワクする」「吉祥寺の象徴といえる」「これからも残ってほしい」「どれもあてはまらない」の9個であった。

基礎集計表から、昭和の雰囲気が残ると考える人が一番多く、65.7%いた。つづいて、これからも残ってほしい58.7%であった。夜に活気があると考え人は6位であり多くはなく16.9%だった。昼に活気があるは7.0%だったので、やはり夜の方が活気があり、利用者数も多いのだろう。

また、これからも残ってほしいが58.7%、吉祥寺の象徴が40.0%だった。ハーモニカ横丁にたいして、武蔵野市民が愛着をもっていることがわかる。

第3節 平均の比較

私たちは、男性の方が夜に活気があると感じているだろうという仮説をたてた。なぜなら居酒屋の店舗数が一番多いハーモニカ横丁は、仕事帰りに飲み屋街として利用する男性が多いのではないかと考えたからだ。実際ハーモニカ横丁に行った際、酔っぱらった男性を見かけることが多く、絡まれることもあった。

仮説1を検証するために、夜に活気があるという選択肢について、男女別の比較を行った。平均の比較から、男性21.0%、女性14.7%であり、男性の方が多かった。したがって、仮説1は支持された。

第4節 関連

相関係数から、夜に活気がある人と考え人ほど、行くとワクワクすると有意に感じていた（相関係数 0.24）。また、夜に活気があると思う人ほど、ハーモニカ横丁にこれからも残ってほしいと有意に思っていた（相関係数 0.18）。実際、夜に活気を感じる人のうち 22.4%がこれからも残ってほしいと考えるが、感じない人のうちでは 9.1%だった。

したがって、仮説 2 は支持された。飲み屋の常連の人は、ハーモニカ横丁にワクワクするし、これからも通いたいと考えていた。

なお、昭和の雰囲気が残ると思う人が 65.7%で一番多かったが、他のイメージとは有意な関連がほとんどなかった（これからも残ってほしいとだけ有意に関連した）。

第5節 インタビュー

ハーモニカ横丁のモスクワという店にインタビューを実施した。昼はランチバイキング、夜はスタンディングバーとなる。スペインのバルをイメージした店内は、赤がメインカラーとなっていて若者向けのお店のように感じた。あえて鉄骨をむき出しにするなど、ハーモニカ横丁に溶け込んだ作りともなっていた。

「男性ほど、ハーモニカ横丁にたいし夜に活気があると感じているという結果が出ているのですが、夜の客層は男性のほうが多いのでしょうか」。

「30～50 代の男性のサラリーマンが多いですね。立ち飲み屋という形態なので、他のお客様との距離が近く絡みやすいと思います。女性との関わりを求めたりコミュニケーションを取りに来る人が多く、少し人恋しい人が多いのかな～と感じますね」。

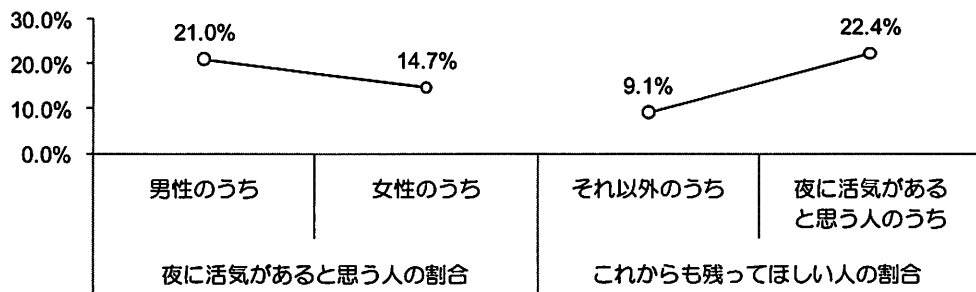
店内の雰囲気がモダンであり若い人向けのように感じたが、年配の常連さんが多いという。年配の方と比べ、若い人たちはグループで来るためにスタッフと話す機会があまりなく、常連になりにくいのだという。

ハーモニカ横丁にはテレビや雑誌の影響で若い客層が増える中で、デパートのように縦に伸びるのではなく、迷路のように横に広がっている。いわばテーマパークのようなワクワク感や、昭和の雰囲気を思わせるちょうちんの光が、人びとをハーモニカ横丁へと引きつけるのかもしれない。

第6節 感想

意外だったことは、若い人向けの内装のお店でも、常連は年配の方が多いことである。やはりお店の内装がいくらモダンでも、ハーモニカ横丁特有のどこほこ道に導かれ、ちょうちんが織りなす昭和の匂いに誘われるのは、年配の方が多いようだ。逆に、ハーモニカ横丁に足を運んだ際、「へ～こんなにお店があるんだね～」「面白いね～」など、若い人でも初めて来るような言葉を何度か耳にする機会があった。ハーモニカ横丁の魅力は、老若男女問わないんだと感じた。

男性ほどハーモニカ横丁は夜に活気があると思い、そうした人ほどこれからも残ってほしいと願っていた



今回は、夜に活気があるという仮説を立てた。しかし、最初のインタビューでは、昼だけのシフト、夜だけのシフトの人が多かった。そのため、比較することができなかったのは反省点だ。2軒目では有意義なインタビューをすることができた。

私たち自身、アンケート調査を行う前に初めてハーモニカ横丁に足を運んだ。それまでは、夜は酔っぱらったサラリーマンが多く、迷路のように道が狭いため、女性には近寄りがたい印象があった。しかし、何度か足を運ぶことによって、迷路のでこぼこ道や、狭いからこそ店員との距離が近い環境に愛着が湧いてきた。今では、ハーモニカ横丁にこれからも残ってほしいと感じている。

第2章 コミュニティセンター

——イベント参加と地域交流——

服部知佐子（班長），小山智（分析担当），堤香奈子（調査票担当），橋本朋美（実査担当）

第1節 問題関心

この章では、人びとがコミュニティセンターをどのように利用しているかを調べる。武蔵野市には20のコミュニティセンターがある。どれも市民に開かれた施設となっており、様々な催しを行って活発に活動している。その結果、人びとがコミュニティセンターを利用する目的も多様だと予想できる。

武蔵野市のコミュニティセンターは、地域のコミュニティづくりの拠点として、「コミセン」の呼び名で親しまれている。「自主参加，自主企画，自主運営」という基本理念の下，夏祭り，フリーマーケット，どんど焼きなど，さまざまなイベントを開催している。

こうしたイベントに参加するのは、地域との関わりの深い人たちだろう。そうであるなら、女性や年配の人ほど参加していると予想できる。また、そうした人たちは、イベントを通して他の住民と交流できるし、その結果地域に愛着をもつだろうと考えられる。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：女性ほど、また年配の人ほど、地域活動に熱心なため、コミュニティセンターのイベントに参加するだろう。

仮説2：イベントに参加する人ほど、地域住民との交流に満足をしていて、武蔵野市に住んでいることを幸せと感じているだろう。

第2節 集計結果

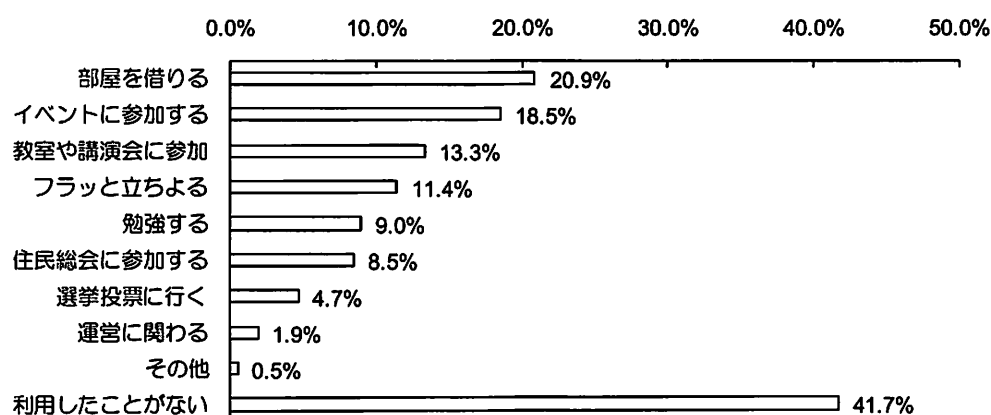


メンバー



けやきコミセンのイベント（粘土教室）

問4 あなたはこれまで、どのようにコミュニティセンターを利用したことがありますか(〇はいくつでも)



問4で、「あなたはこれまで、どのようにコミュニティセンターを利用したことがありますか(〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は「教室や講演会に参加」「イベントに参加する」「フラッと立ちよる」「勉強する」「部屋を借りる」「住民総会に参加する」「運営に関わる」「その他(具体的に)」「利用したことがない」の9個であった。

基礎集計表から、部屋を借りる人が20.9%と最も多かった。勉強会や趣味のサークルなどで利用しやすいのだろう。イベントに参加する人は18.5%いた。住民総会に参加したり、運営に関わる人は1割以下であった。いっぽう、利用したことがない人は41.7%いた。

第3節 比較

平均の比較から、男女別だと「フラッと立ちよる」「住民総会に参加する」「利用したことがない」の3つは男性のほうが多く、「教室や講演会に参加する」「イベントに参加する」「部屋を借りる」などは女性のほうが多かった。イベントに参加する女性は24.4%であるのにたいし、男性は9.9%と男女間では大きな差があった。フラッと立ち寄るのが男性に多いというのは、やや意外であった。散歩の途中で「ちょっと休憩」というような、軽い気持ちで立ち寄る人が多いのかもしれない。年齢別では、全体に40代以上のほうが多いか、あまり変わらなかった。

仮説1を検証するために、イベント参加を年齢別に比較したら、イベントに参加するのは30代以下8.6%なのにたいし、40代以上26.8%と3倍以上であった。したがって、仮説1は支持された。若い人は仕事や育児で余暇の時間が少ないため、コミュニティセンターを利用したくてもできない人が多いのかもしれない。

第4節 関連

相関係数から、教室や講演会に参加している人ほど、イベントに有意に参加していた（相関係数 0.25）、また部屋を借りる人ほど、イベントに有意に参加していた（相関係数 0.18）、

仮説 2 を検証するために、イベント参加と地域交流などとの関連を調べた。すると、イベントに参加する人ほど、地域住民との交流に有意に満足していた（相関係数 0.23）、イベントに参加する人のうち、地域住民との交流に満足している人は 23.0%で、イベントに参加していない人 5.8%より多かった。

ただし、イベントに参加する人のうち、武蔵野市に住んでいることに幸福感を感じている人は 97.4%、参加していない人は 95.9%とほとんど差はなかった。よってイベントに参加することと、武蔵野市に住んでいることへの幸福感とは直接関係があるとはいえないようだ。したがって、仮説 2 は部分的に支持された。

武蔵野市は交通の便もよく住みよい街として有名である。そのためかえって、コミュニティセンターのイベントに参加してもしなくても、市に対する愛着は変わらないののだと考えられる。しかし、やはりイベントに参加している人はそれだけ地域交流をしているようで、その分満足度が高いともいえる。

第5節 インタビュー

武蔵野市吉祥寺北町にある「けやきコミュニティセンター」に伺って、運営委員である寺島さんと高橋さんにインタビューを実施した。寺島さんは武蔵野市在住の 60 代女性で、運営委員になって 20 年という。高橋さんは 40 代女性で、運営委員になって 10 年である。けやきコミュニティセンターはガラス張りが多く、明るい雰囲気、受付では笑顔で迎えてくれた。

「けやきコミセンでは、今後どのような利用者層を増やしていきたいと考えていますか」。

「20 代、30 代の若い層や、一人暮らしのお年寄りにも利用していただきたいと思います」。

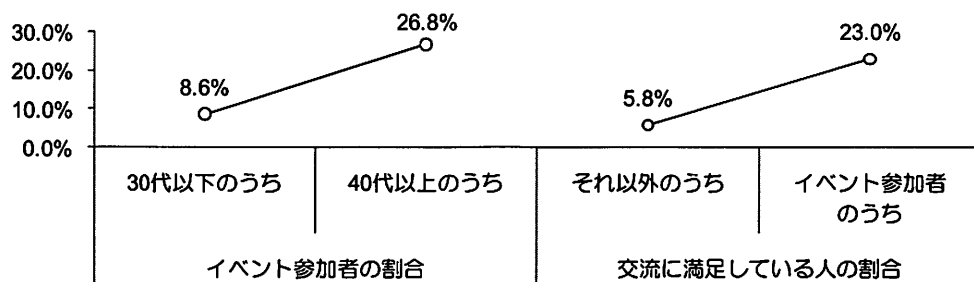
「では、そのためにどのような取り組みをしているのでしょうか」。

「けやき（コミセン）では、誰もがフラッと立ち寄ることのできる雰囲気作りを目指しています。また、けやきのことを幅広く認知してもらうために、チラシの配布や市報への掲載を行っています」。

コミュニティの活性化に対する熱い想いを語ってくださった。年配の女性だけでなく、男性や 20 代 30 代の若い人たち、一人暮らしのお年寄りなどに利用してもらうために、さまざまな努力をしているということがわかった。利用者名簿を置かないとか、窓口での明るい挨拶などもそのひとつである。このような地道な取り組みが、けやきコミュニティセンターが目指す「誰もがフラッと立ち寄ることが出来る暖かい場所」にむけて、役立っているのだろうと感じた。

また、コミュニティセンターに関わることで武蔵野市に対する問題意識が高まりはすると思う。ただし、幸せの感じ方は人それぞれなので、イベントに参加することと、武蔵野市に

年配の人ほどコミセンのイベントに参加して、そうした人ほど地域住民との交流に満足していた



住んでいることへの幸福感に直接的な関係はないだろうとのことであった。

第6節 感想

実際にインタビューをしたり、11月28日にけやきコミセンで行われていた「エト市」というイベントに参加してみて、コミュニティセンターの人たちの温かさを感じることができた。エト市は成蹊大学現代社会学科の高田昭彦ゼミのゼミ生が中心となって企画・運営した。野菜を販売したり、手作りのすいとんを売ったり、バザーを開いたりすることで、地域交流の活性化を図った。イベントに参加する方々は年配の方ばかりだと思っていたので、ちいさな子供を連れた母親が多く見られたことは意外であった。

けやきコミセンが活性化していることも、様々な年齢層の方が参加していることに関係しているのだろう。また、運営側とイベント参加者の距離も近く、楽しそうに会話をしている姿が随所で見られた。みなさんがとても楽しそうにイベントを満喫されているな、という印象を受けた。

まだまだ利用したことがない人が多いため、各選択肢の回答割合が全体的に低かった。このことは分析する上で少し残念に感じたことではあった。とはいえ、調査やインタビューを通して、コミュニティセンターがいかに地域交流の場として活躍しているかを知るとともに、コミュニティセンターの魅力について、もっと多くの人に知ってもらいたいと強く感じた。

第3章 ムーバス

——市民の足としてのコミュニティバス——

川村なつき（班長）、木下珠冬（実査担当）、木村彩子（調査票担当）、細田昇平（分析担当）

第1節 問題関心

この章では、武蔵野市のコミュニティバス「ムーバス」にたいして、人びとがどのような要望をもっているのかについて調べる。ムーバスは、今や武蔵野市民の足として定着しており、その分要望も多いのではないかと考えたからだ。

ムーバスは、1995年に運行が開始された。駅から1km以上離れ、バス停からも300m以上の「交通空白地域」を解消することで、高齢者などが自由に市内を移動できるまちづくりを目指している。車体、ルート、頻度、運賃がうまく機能した成功例として、その後のコミュニティバスブームの火付け役となった。現在では全国で約209の市町村がコミュニティバスを導入している。

ムーバスは29人乗りの小型バスで、普通の路線バスでは入れないような狭い道路を走っており、バス停間隔も短いことが特長である。現在では7路線9ルートで15～20分間隔で運行されている。運行時間は路線により朝7時～8時頃から夜19時～20時30分頃までの運行となっており、運賃は小学生以上均一で100円である。一周約5キロを30分程度かけ、通常のバスよりもゆっくりと運行する。路線ごとに一日平均約1000人～1800人の利用者があり、1998年度からは収益も黒字に転換した。高齢者を中心として幅広い世代の市民に利用され、まさに「市民のため」のバスであるといえる。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：女性ほど、安全に帰宅したいので、ムーバスを遅い時間まで運行してほしいと思っているだろう。

仮説2：ムーバスをより遅い時間まで運行してほしいと思っている人ほど、帰宅時間が遅

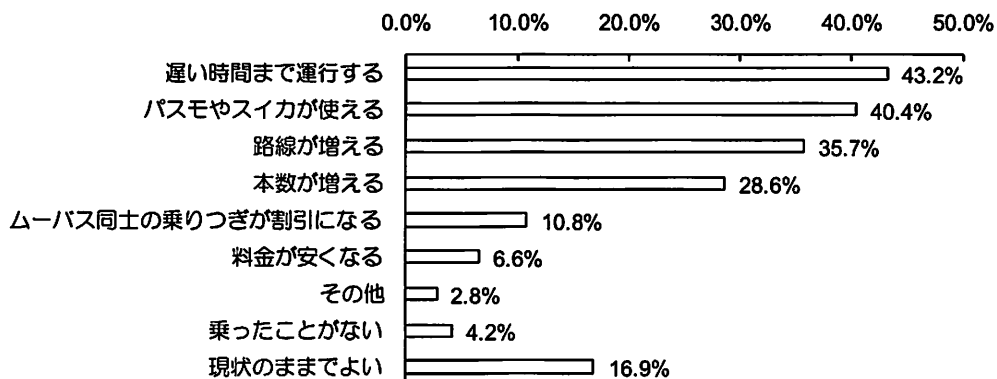


メンバー



ムーバス

問7 ムーバスについて今後、どのような改善をしてほしいですか（〇はいくつでも）



く家で料理をできないため、カップ麺を常備しているだろう。

第2節 集計結果

ムーバスへの希望において、問7で「ムーバスについて今後、どのような改善をしてほしいですか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「路線が増える」「遅い時間まで運行する」「本数が増える」「料金が安くなる」「ムーバス同士の乗り継ぎが割引になる」「パスモやスイカが使える」「その他」「乗ったことがない、知らない」「現状のままでよい」の8個であった。

基礎集計表から、遅い時間まで運行してほしいという人が多く43.2%いた。続いてパスモやスイカ利用を希望する人が40.4%と多かった。路線の増加35.7%、本数の増加28.6%も多かった。

いっぽう、料金が安くなるは6.6%で少なく、現在の一律100円で満足している人が多いようだった。ワンコインということもあり、やはり料金を変える必要はないと感じた。

「遅くまで運行してほしい」や「パスモやスイカが使える」が多いのは仮説通りだった。しかし、乗ったことがない、知らない人が思ったよりも多かった。

第3節 平均の比較

平均の比較から、男女別だと、全体に女性に希望が多く、男性は現状のままでよいと思う人が多かった。年齢別では、年配の人が路線増加と運行時間延長を希望していた。既婚者と未婚者では、既婚者ほど本数増加を希望していた。

仮説1を検証するために、延長希望者をグループ別に比較した。すると、男性のうち43.2%、女性43.4%とほぼ同じだった。したがって、仮説1は支持されなかった。私達は、夜遅くなったら安全にバスで帰りたいという人が女性に多いだろうと予想した。しかし、実際は男女

の差はなかった。夜遅くなったら、バスで安全に家に帰りたいと思うのは、男女ともに共通するということが分かった。

なお、年齢別では 30 代以下 39.4%、40 代以上 46.0%と年配の人が多かった。未婚者 41.4%にたいして既婚者 45.0%であまり差はなかった。

第 4 節 関連

相関係数から、遅い時間まで運行してほしい人ほど、乗りつぎ割引とパスモ利用を有意に希望していた（それぞれ相関係数 0.19, 0.23）。いっぽう、その他の希望とは関連がなかった。

なお、延長希望者ほど家にカップ麺を有意に常備していた（相関係数 0.22）。延長希望者のうち、家にカップ麺を常備している人は 53.0%で、そうでない人 31.0%より多かった。したがって、仮説 2 は支持された。帰りが遅くて夕飯を作る暇がなかったり、疲れて作るのが面倒だからカップ麺で済ますからかもしれない。たしかに私たちも、遅くに疲れて帰った日には、手軽なカップ麺や惣菜で済ますことが多い。納得できる結果だった。

第 5 節 インタビュー

武蔵野市役所交通対策課のムーバス担当の方に、インタビューを実施した。八王子市在住の 40 代男性であった。

「私たちのアンケートでは、遅くまで運行してほしいという人が最も多くなっていました。市民からも、実際にそういった要望はあるのでしょうか」。

「その要望は非常に多いですね。とくに 1・2 号路線で多いです。利便性をあげるということだけでなく、バスが夜間にも走ることによって、その地域の防犯性を高めることができるという点も要望の理由のようです」。

「それは今後実行していく予定はあるのでしょうか」。

「検討事項ではありますけれども、現実的には少し難しいかなと思っています。コストの問題もありますし、ムーバスをつくった元々の目的が、交通空白地域を解消することであり、現状ではそれが達成されているためです」。

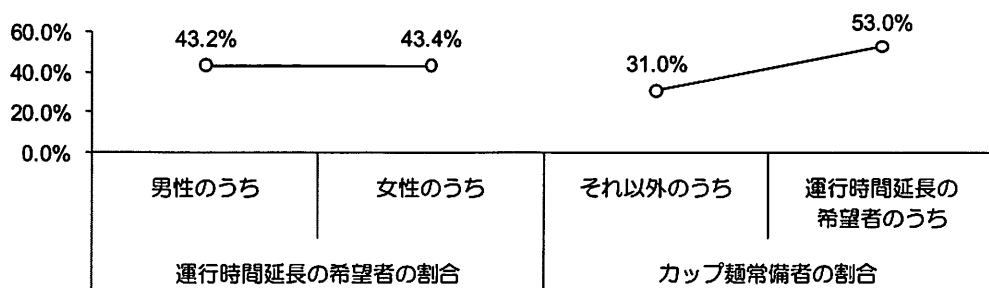
「では、なにかこれから行っていくことはありますか」。

「12 月に中央線の踏切が廃止されるため、それにともなう路線の見直しを考えています。従来の路線をつなげることで、より利用しやすいルートづくりをしたいと考えています」。

ただ、新しい停留所が設置されるには、設置許可を国や自治体から得ることに、少なくとも半年はかかるのだという。そもそもムーバス自体、立案から走行開始までの間に 5 年以上の歳月を要した。お話を聞いていて、目的が達成されてもなお、市民のニーズに應えるために、限られた予算のなかでできることを考えている様子がうかがえた。

利用者は予想通り、年配の女性が多いという。ただ、遅い時間帯は通勤通学目的でも利用されるため、若い人や男性も多いという。

男性も女性もムーバスにもっと遅くまで運行してほしいと希望しており、そうした人ほどカップ麺を家に常備していた



第6節 感想

以上から、ムーバスは人びとの生活に密着していて、それだけに市民からの期待も大きいことが分かった。とくに年配の方の利用が多く、病院などに行く際、便利な手段となっているようだ。そのいっぽう、若い人びとの利用も増えてきているということが意外であった。実際に乗車してみても制服姿の学生が多くいて、通勤通学の手段としてもムーバスは活躍しているようだ。また、女性がムーバスを仕事あとに乘れるように運行時間を延ばしてほしいと希望しており、現代の女性の社会進出を表しているように感じた。

市民の要望にたいして、市役所の方がたは改善していくことにとても積極的であった。私たちも今回のアンケート調査にやりがいを感じて、嬉しく思った。

苦労したことは、コミュニティバスについてのデータが少なく、定義が難しかったということだ。現在ではまだまだ、コミュニティバスが全国的には普及していないのを感じた。

今回の調査を通して、ムーバスとはコミュニティバスとして武蔵野市の人びとの足となり、市民同士をつなげる存在であると思った。かわいらしいデザインで、ちょっと小柄なムーバスは、今や武蔵野市の愛すべき一員といえるのだろう。

第4章 寺院，神社，教会の利用

——お祭りの役割——

長田萌利（班長），太田理恵（実査担当），加藤里絵（分析担当），松田康平（調査票担当）

第1節 問題関心

この章では，人びとが武蔵野市内の寺院・神社・教会といった宗教施設をどのように利用しているかについて調べた。とくに，お祭りのもつ役割に着目した。

統計数理研究所の調査によると，日本人の69%が「宗教的な心を大切に思う」と回答している（統計数理研究所「国民性調査」2008年）。これは結婚式やお葬式などの通過儀礼をはじめ，初詣やお祭り，クリスマスなどの年中行事が様々な宗教と関わりを持っているためであると考えられる。中でもお祭りは最も身近なイベントであると言える。お祭りは地域の人びととの交流や，家族・友人関係を深める場としての役割をもっているのではないだろうか。

現在，日本には約8万1千の神社，約7万7千の寺院と約3万3千の教会がある（文部科学省「宗教統計調査」2007年）。現在武蔵野市のお寺や神社でも，夏から秋にかけてお祭りが催される。

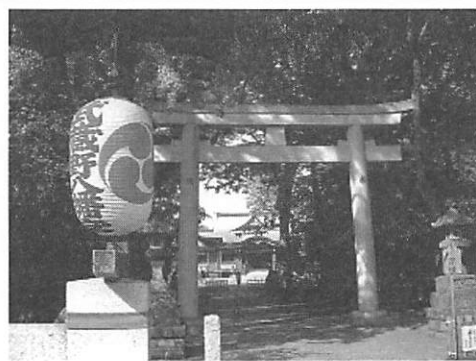
では，どういう人がお祭りにいくのだろうか。父親は，子どもとのふれあいの場として近場のお祭りに子どもを連れて行くかもしれない。年配の人は，地域の行事としてお祭りに積極的に参加しているだろう。また，お祭りに行くことで家族間の絆が深まるし，地域の人と交流する機会ができるのではないだろうか。そこで，以下の仮説を立てた。

仮説1：男性ほど，年配の人ほど，結婚している人ほど，市内の寺院・神社・教会のお祭りに行ったことがあるだろう。

仮説2：市内の寺院・神社・教会のお祭りに行ったことがある人ほど，家族について幸せと感じているし，地域の人びととの交流に満足しているだろう。

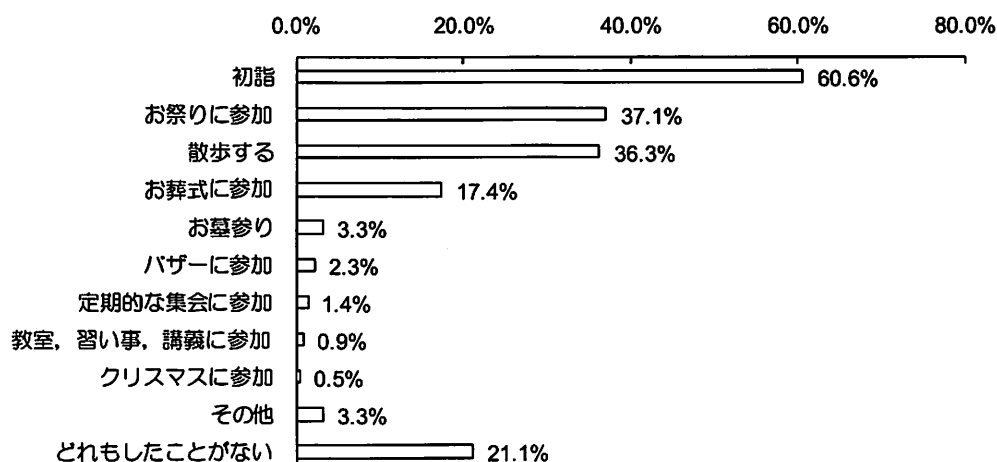


メンバー



吉祥寺にある武蔵野八幡宮の鳥居

問 5 あなたはこれまで、市内の寺院・神社・教会でどのようなことをしたことがありますか（〇はいくつでも）



第 2 節 集計結果

問 5 で、「あなたはこれまで、市内の寺院・神社・教会でどのようなことをしたことがありますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「初詣」「お墓参り」「お葬式に参加」「お祭りに参加」「ハザーに参加」「クリスマスに参加」「教室、習い事、講演に参加」「散歩する」「その他（具体的に）」「どれもしたことがない」の 11 個であった。

基礎集計表から、初詣をする人が圧倒的に多く、60.6%だった。つづいてお祭りに 37.1% の人が参加したことがあった。散歩をする人は 36.3%、お葬式に参加したことがある人は 17.4%だった。残りの選択肢はそれぞれ 5%未満と少数であった。いっぽうで、どれも参加したことがない人は 21.1%で、意外と多かった。

第 3 節 平均の比較

平均の比較から、男女別だと、お墓参り、お葬式に参加、クリスマスに参加を除いて男性が女性を上回った。年齢別では、「どれもしたことがない」以外で 40 代以上の人が多く、とくに初詣、お葬式、お祭りに行く人は圧倒的に 40 代以上の人が多かった。

仮説 1 を検証するために、男女別に比較を行ったら、お祭りに行ったことがあるのは男性のうち 40.7%、女性 35.7%と男性がやや多かった。また年齢別の比較を行ったら、30 代以下 28.7%、40 代以上 44.2%と年配の人が多かった。既婚者と未婚者で比較を行ったら既婚者 45.9%、未婚者 28.3%で既婚者のほうが多かった。したがって、仮説 1 は支持された。

第4節 関連

相関係数から、教室・習い事・講演に行ったことがある人ほど、バザーに有意に行っていた（相関係数 0.31）。また、お墓参りに行ったことがある人ほど、お祭りに有意に行っていた（相関係数 0.24）。人によって宗教施設には色々な利用目的があることが窺える。宗教施設を何らかの形で利用している人は、より身近に感じ、他のイベントにも参加するようになるのかもしれない。

なお、お祭りに行った人ほど、家族について有意に幸せと感じていた（相関係数 0.15）。お祭りに行ったことがある人のうち、家族に幸せを感じている人は 93.7%で、そうでない人 83.6%より多かった。お祭りが、家族のふれあいのきっかけになったのかもしれない。ただし、お祭りに行っても、地域の人同士の交流に満足することとは無関係だった。したがって、仮説 2 は部分的に支持された。

第5節 インタビュー

吉祥寺南口商店会会長にインタビューを実施した。この方は、第 37 回吉祥寺秋祭りの大会長をつとめた、秋祭りの大会長や実行委員長は毎年変わる。吉祥寺秋祭りは毎年 9 月第 2 週の土日に行われ、吉祥寺の各商店会がそれぞれの神輿を担いで吉祥寺の街を練り歩く。

「吉祥寺秋祭りにはどれくらいの人に参加していますか」。

「1つの御神輿に約 200 人の担ぎ手がつくとすると、全部で御神輿は 10 あるので担ぎ手だけで 2000 人以上はいます。神酒所に待機している人や来場者を全て合わせるとかなりの人出になりますね」。

「どんなグループで来られる方が多いですか」。

「家族連れが多いですね。最近では大学生の参加も目立ちます」。

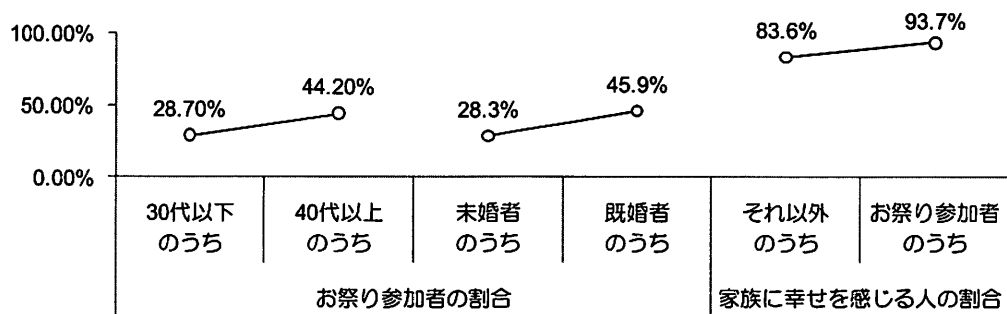
秋祭りでは子供神輿という小学生くらいの子供が担ぐ御神輿も用意されている。また御神輿を担げない小さい子供にも子供山車があり、引くことができる。両方とも当日参加可能で、子供連れの親子の評判はかなりよいそうである。家族の思い出作りにも一役買っているようだ。商店会の視点から見ると、お祭りは地域性も重視しているが、基本的には商業繁栄を目的としているため、市外からの来客者の呼び込みも活発である。

第6節 感想

残念ながら今回の調査では、お祭りと地域の人同士の交流には関連が見られなかった。しかしインタビューを通して、神社や寺院がお祭りにおいて重要な施設であることを再認識できた。ひとつのお祭りを開催するにあたって、寺社をはじめ商店街や地域の住民が一体となって作りあげていることが分かり、地域社会におけるお祭りの役割が最初に想像していたよりも大きいと感じた。

今回の調査を通じて、武蔵野市への愛着が深まり、成蹊大学があるこの吉祥寺という街を

年配の人や既婚者ほど市内のお祭りに参加しており、そうした人ほど家族に幸せを感じていた



より身近に感じることができた。これからもお祭りが地域の人びとの絆をつなぐ行事として、愛され続けることを願う。

第5章 環境問題

——知識から行動へどうつなげるか——

島本朝慈（班長）、五ノ井詩織（調査票担当）、作田絵梨（分析担当）、鈴木里奈（実査担当）

第1節 問題関心

この章では、人びとが環境問題についてどれくらい関心をもち、また実践しているのかを、武蔵野市独自の取りくみに着目して調べる。武蔵野市では、1人1日ごみ700グラム以下を目指す「武蔵野ごみチャレンジ700グラム」や日曜朝のごみ拾い「朝一番隊」など、独自の取り組みが行われている。

現代社会では、大量の二酸化炭素が排出されている。産業革命前に比べて、現在の二酸化炭素濃度は36%増加している（気象庁ウェブページ「二酸化炭素濃度の経年変化」）。

武蔵野市は、1999年に環境基本条例を制定し、同年に第一期環境基本計画を策定した。その後、2005年に2006年度から2010年度を計画期間とする第二期環境基本計画を策定し、市民と企業が取り組みに参加しやすいように改訂した。

こうした取りくみは、武蔵野市に長く住んでいる人ほど知っていると言料できる。また、知識があれば行動にも結びつきやすいだろう。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：武蔵野市に長く住んでいる人ほど、環境問題についての武蔵野市の取り組みを知っているだろう。

仮説2：武蔵野市の取り組みを知っている人は、環境問題について実践しているだろう。

第2節 集計結果

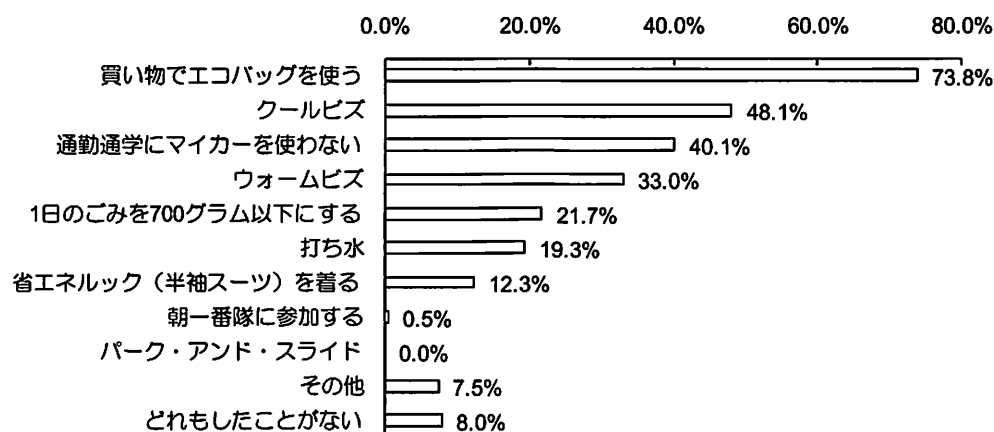


メンバー



市役所でインタビュー

問 12 あなたはこれまで、環境に配慮してどのようなことをしたことがありますか（〇はいくつでも）



まず問 11 で「あなたは、環境にかんする武蔵野市の取り組みについて、どれを聞いたことがありますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「パーク・アンド・バスライド（マイカーとムーバスを組みあわせる）」「武蔵野市打ち水大作戦（夏に道路に水をまく）」「武蔵野ごみチャレンジ 700 グラム（1 人 1 日のごみを 700 グラム以下にする）」「朝一番隊（日曜日 8～9 時に駅前でごみ拾いをする）」「どれも聞いたことがない」の 5 個であった。

もっとも聞いたことがある取り組みは、ごみチャレンジ 700 グラムで 59.0%であった。逆に最も少なかった取り組みは朝一番隊だったが、それでも 21.2%の人が知っていた。

つぎに問 12 で、「あなたはこれまで、環境に配慮してどのようなことをしたことがありますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「パーク・アンド・バスライド」「打ち水」「1 日のごみを 700 グラム以下にする」「朝一番隊に参加する」「買い物でエコバックを使う」「省エネルギー（半袖スーツ）を着る」「夏にエアコンを 28 度以上にする（クールビズ）」「冬にエアコンを 20 度以下にする（ウォームビズ）」「通勤通学にマイカーを使わない」「その他（具体的に）」「どれもしたことがない」の 11 個であった。

基礎集計表から、エコバックを使用している人が圧倒的に多く、73.8%いた。つづいてクールビズが 48.1%と回答者の約半数に浸透していることがわかった。3 位はウォームビズで 33.0%であった。

いっぽう、朝一番隊は 1 人、パーク・アンド・バスライドはいなかった。朝一番隊は日曜日の朝 9 時から始まるため、参加しづらいのだろうと思う。パーク・アンド・バスライドに関しては、武蔵野市内のいたるところにバス停が設置されているため、あえて自家用車で移動する必要もないので実践している人がいなかったと私たちは考える。

第3節 平均の比較

平均の比較から、男女別だと、「省エネルック（半袖スーツ）を着る」と「通勤通学にマイカーを使わない」以外は女性が男性を上回った。また、年齢別の比較を行ったら、全ての項目において40代以上の人が多かった。どちらも家計を意識して行動をしていると考えられ、それが環境活動につながっていると思われる。

仮説1を検証するために、武蔵野市の在住年数別の比較を行ったところ、ごみチャレンジを知っているのは在住9年以下の人のうち53.3%にたいし、在住30年以上80.1%と在住年数が長いほど認知されていた。朝一番隊についても、在住9年以下11.1%、在住40年以上61.5%と、やはり在住年数が長いほうがよく知っていた。したがって、仮説1は支持された。

第4節 関連

クロス集計表から、ごみチャレンジ700グラムを知っている人が125人（59.0%）いるのにたいし、知っている人の中で活動を行っている人は43人（全体の21.7%、知っている125人のうち34.4%）と意外に少なかった。武蔵野打ち水大作戦を知っているのは61人（28.8%）であるのにたいし、そのうち活動を行っている人は24人（全体の19.3%、知っている61人の39.3%）であった。

いっぽう、パーク・アンド・バスライドについては活動を知っている人が55人（25.9%）いるにもかかわらず、実際に活動している人はいなかった。朝一番隊を知っている人は45人（21.2%）いたが、参加している人はそのうち1人であった。

全体として、知ってはいても行動に移すのは難しいようだ。理由としては、これらの活動から人びとが目立った利益を得られないためだと私たちは考えた。また、市民にとっては規模が大きく、活動をしていても結果が見えにくいことも理由の一つだと思う。

実際に私たちも、真夏に27度以下の冷房をつけっぱなしにしていたり、レジ袋を必要以上にもらってしまうことがある。この経験からも、知識を行動に移すのは容易ではないと実感している。

第5節 インタビュー

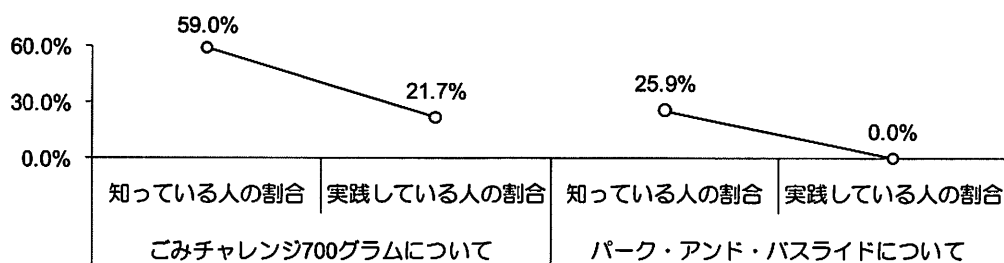
武蔵野市役所の環境生活部環境政策課にて、課長補佐の方にインタビューを実施した（国分寺市在住、50代男性）。平日の午前9:30頃に伺ったにも関わらず、多くの人が入り出りをしていた。環境政策課は環境に配慮して、節電や紙の再利用などを行っているという。

「武蔵野市に長く住んでいる人ほど、武蔵野市の環境活動について知っているという結果が出ました」。

「そうだね、武蔵野市が費用をかけて行っているからかな。やっぱり、費用を多くかけているものの方が認知度が高いんだよ」。

「環境に関する武蔵野市の取り組みについて、何かしらを知っているという人が、全体の

ごみチャレンジ 700 グラムもパーク・アンド・バスライドも、知っている人はある程度いるが、実践している人は少ない



71.7%いました」。

「そうなんだ。5年、10年前から見たら、大幅アップだと思うよ」。

「これから、知っているだけでなく行動をしてもらうには、どうしたらよいと思いますか」。

「補助を出したり、インセンティブをどう与えるかを考えることかな。逆に、ペナルティを与えたりすることも必要になってくるのかもしれない」。

市役所では、実行をするための十分な財源がないそうだ。費用に見合った環境効果の見返りがないと、実施することは難しいとのことだった。

第6節 感想

私たちの班では、相関係数を使うかわりに、クロス集計表から分析を行った。これまでの調査実習では例がなく、最初は戸惑うことが多く大変だった。しかし、その分興味深い分析ができたと思う。

武蔵野市のたくさんの人が環境活動について知っているが、あまり実践できていないことがわかった。調査をする前は、武蔵野市民は環境に関する意識が高く実際に行動している人も多いと私たちは考えていたので意外だった。今回の調査を通して、人というのは目に見える利益がないとなかなか行動できないと感じた。現状では環境活動を普及させるためには、行動した人に利益が出る仕組みを作ることが必要だと思った。

第6章 中学時代

——恋愛と部活動の思い出——

森麻実（班長），荒井裕介（分析担当），茂木愛未（実査担当），
矢野ゆり（調査票担当），若本綾香（実査担当）

第1節 問題関心

この章では、武蔵野市に住む人びとが中学時代をどのように過ごしたのかを調べた。そのために、思い出深かったことはなにかに着目する。

中学時代の思い出として個人差が出てくるのは、部活動と恋愛だろう。ベネッセコーポレーションが2004年に中学生の恋愛と部活動についての調査を行った（ベネッセ「第1回子供生活実態基本調査」2004年）。これによれば、中学生の部活動日数は4.8日となっており、1週間の半分以上を部活動に費やしている。1回あたりの時間は、2時間～2時間30分である。

また、異性との付き合い経験は中学1年生で20.2%、中学2年生25.9%、中学3年生37.3%だった。中学生になると、さまざまな小学校からいろいろな生徒が集まり、たくさんの人と接する中で恋愛にも興味がわくと考えられる。ただ、男性は一つ一つの恋愛を大切にしようだが、女性は新しい恋愛をすることにも積極的かもしれない。そこで私たちは、以下の仮説を立てた。

仮説1：男性ほど、また未婚者ほど、中学時代の恋愛や部活動が思い出深いだろう。

仮説2：恋愛や部活動が思い出深い人ほど、中学時代が楽しかっただろう。

第2節 集計結果

問15で、「あなたの中学時代で、どのようなことが『よい思い出』でしたか（○はいくつ

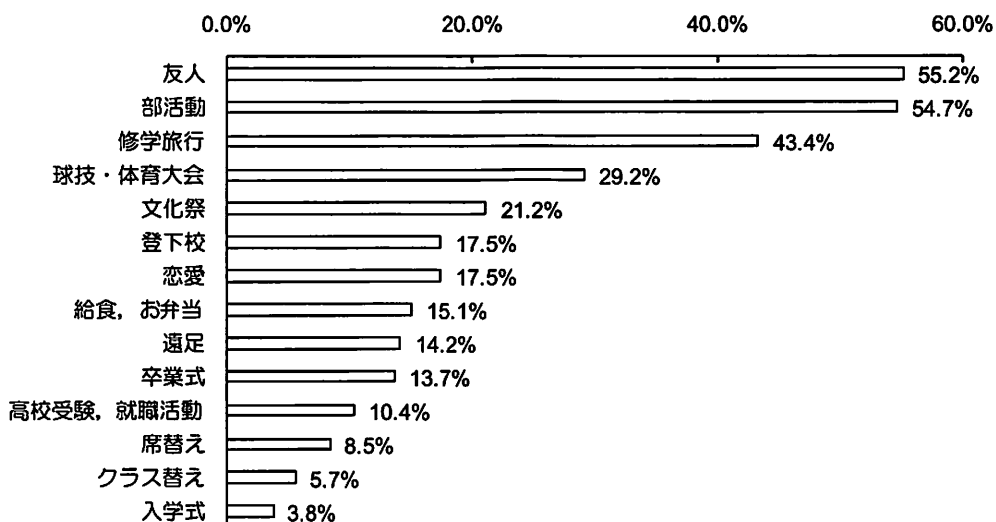


メンバー



部活では球技も人気

問 15 あなたの中学時代で、どのようなことが「よい思い出」でしたか（〇はいくつでも）



でも）」と質問した。選択肢は「入学式」「登下校」「席替え」「クラス替え」「給食・お弁当」「部活動」「友人」「恋愛」「遠足」「球技・体育大会」「文化祭」「修学旅行」「高校受験・就職活動」「卒業式」「特にない」の15個であった。

基礎集計表から、友人と答えた人が一番多く55.2%いた。つづいて部活動が54.7%とほぼ同数であった。学生時代の思い出でよく挙げられる修学旅行は、43.4%で3位であった。恋愛は7位で17.5%の人が挙げた。

いっぽう、入学式、席替え、クラス替えがよい思い出だった人は少なく、それぞれ1割以下だった。中でも入学式は3.8%と最も低い。この時点ではまだ知り合いが少ないためだと考えられる。席替えすること自体は思い出深い、学校生活を通して回数が多いため、一回一回は覚えていないのかもしれない。クラス替えは、替わる際の心躍る気持ちはあるけれど、替わった後はそのクラスに慣れてしまい、日常化するのだろう。

第3節 平均の比較

平均の比較から、男女別だと、恋愛は男性のうち23.5%で女性13.7%と、男性が女性を上回った。年齢別では、30代以下24.5%で40代以上11.5%と若い方が多かった。恋愛そのものが低年齢化しているためではないかと考えられる。婚姻状態別では、未婚者21.2%、既婚者14.2%と未婚者が多かった。既婚者は特定の相手がいるため、思い出としては濃くないのかもしれない。

部活動を挙げた人は、男性のうち55.6%にたいして女性54.2%とやや男性が多かった。年齢別では、30代以下59.6%、40代以上51.3%と30代以下が上回った。昔よりも、部活動の種類が多様化し、大会などが多く開催されるようになったからではないか。婚姻状態では、

未婚者 55.6%，既婚者 54.0%と未婚者の方がやや多かった。したがって、仮説 1 は支持された。

第 4 節 関連

相関係数から、恋愛と部活動に有意な関連はなかった（相関係数 0.04）。では、中学時代全体を振り返って、どういう人が楽しかったと考えるのだろうか。

相関係数を求めたら、恋愛や部活動がよい思い出であった人ほど、中学時代が有意に楽しかった（相関係数 0.15, 0.29）。つまり、恋愛や部活動のおかげで、中学時代全体が充実していたといえる。恋愛がよい思い出の人のうち、中学時代が楽しかったのは 91.9%だが、そうでない人だと 76.0%だった。部活動がよい思い出の人のうち、中学時代を楽しんだのは 89.7%、そうでない人 65.7%だった。以上から、仮説 2 は支持された。

第 5 節 インタビュー

公立中学校の先生にインタビューを実施した。教員生活 20 年以上の男性で、担当科目は理科である。職員室のそばにある応接室で話を伺った。

「中学生生活を楽しめている生徒に、なにか共通点はありますか」。

「目的意識をもっている子は学校生活を楽しんでいますね。部活、委員会、課外活動など、何かしら積極的に取り組んでいる子」。

「では、学校行事はどういう人が中心になっていますか」。

「体育祭や合唱コンクールで、学年問わず、女子がまとめ役をし、引っ張っていますね」。

「部活は盛んですか」。

「うちの学校では、部活に入っている生徒が 9 割くらい。どの生徒も自主的に、先輩の姿を見て入部をしているみたい」。

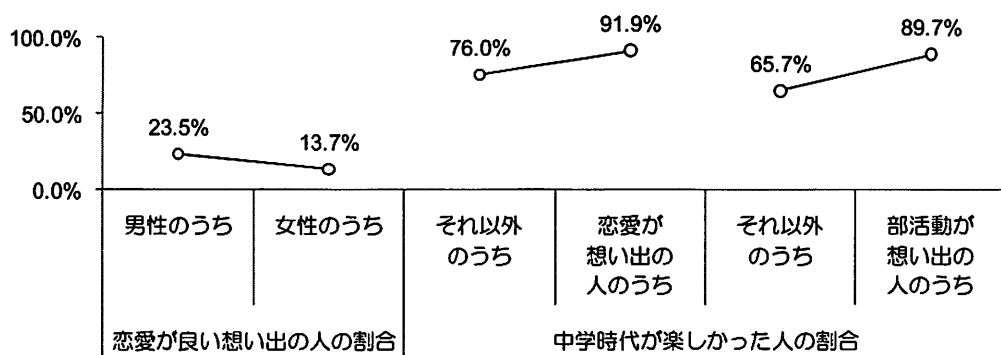
盛り上がる行事としては、体育祭と合唱コンクールが挙げられた。調査結果でもっとも高かったのが修学旅行だったことをふまえると、毎年ある行事より、修学旅行のような一度きりの行事の方が思い出として残るのだろう。

中学時代が楽しかった人は恋愛と部活にも力を入れていたという仮説 1 の結果は、目的意識をもって学生生活を送っていたというインタビュー結果と一致する。ただし、卒業式で第二ボタンの受け渡しをするなど、恋愛に関することは行われなさそう。いっぽうで、生徒の恋愛にたいして先生も冗談まじりに話をすることがあるなど、日常的にオープンだとも述べていた。

第 6 節 感想

中学校の先生にインタビューし、生の声を聴けたというのは貴重な経験だ。この中学では、部活動に入っている生徒が 9 割を超すという。このことから、部活動における人間関係は、

男性ほど中学時代の恋愛がよい思い出となっていて、そうした人ほど中学時代が楽しかった。部活動が思い出の人でも中学時代を楽しんだ



日常的な学校生活における友人関係とほぼ重なりと推測出来る。

調査する中で興味深かったのは、未婚者の男性の方が恋愛を思い出深いとしていたことである。既婚者だと特定の相手がいるため、昔の恋愛についてはそれほど思い出深くないという一途さが伺えた。

また、中学以外の学生時代がどうであるかにも興味がわいた。そこで、ぜひ来年以降の実習では「高校時代」の思い出も調査してほしいと思った。

第7章 結婚

——人柄か容姿か——

宮里羽理（班長），小林由明（実査担当），藤島美季（分析担当），藤田知子（調査票担当）

第1節 問題関心

この章では、人びとが結婚相手にたいしてどのような点に魅力を感じたかを、とくに人柄と容姿に着目して調べる。異性に対する魅力は多様であろう。たとえば、1980年代末のバブル期には、女性が高学歴・高身長・高収入の「三高」を求めたという。

厚生労働省「人口動態調査」によると、2007年の婚姻件数は719,822組であり、平均初婚年齢は夫30.1歳、妻28.3歳であった。初婚年齢も未婚率も上昇しており、非婚化・晩婚化が進んでいる。背景としては、女性の高学歴化や社会進出が指摘されている。

では、人びとは異性の何に魅力を感じて結婚するのだろうか。ほんとうに、「三高」のように人柄より容姿が重視されるのだろうか。また、容姿や人柄に魅力を感じた人びとが、生活にどれくらい満足しているかについても調べたい。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：男性ほど容姿，女性ほど人柄に魅力を感じるだろう。

仮説2：人柄に魅力を感じる人ほど，生活全般に満足しているだろう。

第2節 集計結果

問18で、「あなたは、現在の配偶者または恋人に、どのような魅力を感じましたか（現在いない場合でもっとも最近の方について）（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「愛情」「人柄や価値観」「容姿」「運命」「学歴」「職業」「経済力」「家柄」「その他」「配偶者，恋人はこれからみつける」の10個であった。

基礎集計表から、人柄や価値観に魅力を感じる人が圧倒的に多く、74.1%いた。つづいて

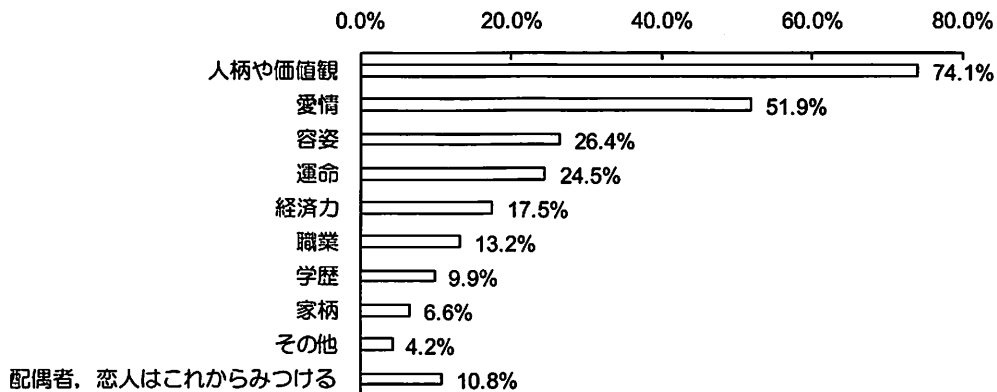


メンバー



婚約指輪は結婚の象徴

問 18 あなたは、現在の配偶者または恋人に、どのような魅力を感じましたか（現在いない場合はもっとも最近の方について）（〇はいくつでも）



愛情 51.9%だった。容姿は 3 位で 26.4%の人が挙げた。

恋愛とは違い、結婚は人生の中で大きな決断と言える。また、ともに生活を送っていくためには欠点も含め、相手のありのままの姿を受け止める必要がある。そのため、外面である容姿より、人柄、価値観、愛情といった相手の内面を優先するのだろう。いっぽう、家柄や学歴を挙げた人は 1 割以下だった。「三高」のうち、高身長を容姿に含めれば 26.4%、経済力 17.5%、学歴 9.9%だった。実際には人びとはかならずしも「三高」にこだわっているわけではないようだ。

第 3 節 平均の比較

平均の比較から、容姿に魅力を感じる人は、年齢別で大きな違いがなかった。人柄や価値観に魅力を感じる人は、年齢別ともに大きな違いはなかった。既婚者と未婚者で比較をすると、人柄や価値観と容姿ともに既婚者が上回った。

仮説 1 を検証するために、男女別の比較を行った。すると、容姿に魅力を感じるのは、男性 40.7%、女性 17.6%と男性の方が倍以上いた。いっぽう、人柄に魅力を感じる人は、男性 74.1%、女性 74.0%でほぼ同数であった。結婚するにあたっては、これからの生涯をともにするということで外面である容姿に比べて、内面の人柄や価値観を男女ともに重視するからであろう。したがって、仮説 1 は部分的に支持された。

第 4 節 関連

ここでは、既婚者に絞って関連をみていく（215 人中 113 人）。相関係数から、容姿を重視する人と人柄を重視する人とは、有意な関連がなかった（相関係数 0.14）。したがって、やはり人は容姿か人柄のどちらかに魅力を感じて、両方ということは少ないようだ。

仮説 2 を検証するために、生活への満足度との関連を調べたら、人柄や価値観に魅力を感じる人ほど、生活全般に有意に幸せを感じていた（相関係数 0.26）。人柄や価値観に魅力を感じる人のうち、生活全般に幸せな人は 96.7%にたいして、そうでない人では 81.0%だった。他にも、人柄や価値観に魅力を感じる人ほど、健康、家族、友人に有意に幸せを感じている（相関係数 0.20, 0.29, 0.19）。

いっぽうで、容姿に魅力を感じる人は、それらと有意な相関がなかった。容姿は目に見えて変わっていく可能性があるから、ずっと満足感が得られる保証はないのかもしれない。したがって、仮説 2 は支持された。

第 5 節 インタビュー

班員の両親 4 組にインタビューを実施した。お見合い結婚 2 組、恋愛結婚 1 組、グループ交際 1 組という内訳で、みな結婚 20～30 年目だった。インタビュー方法は、自宅通学者 2 名が直接インタビューを行い、地方出身の 1 人暮らし 2 名は電話にて行った。

「相手の何に魅力を感じて結婚したか」という質問にたいして、それぞれの父親の主な回答は「容姿と人柄、なんでも一生懸命なところ、優しい感じがした」などであった。それぞれの母親の主な回答は「経済力と人柄、頼れるところ、優しい、愛情や人柄や価値観」などであった。

「生活に幸せを感じているか」という質問にたいしては、それぞれの父親は、「おおむね幸せ」だった。母親はだいたい「幸せ」と答えたが、中には「あまり幸せではない」という回答もあった。

「結婚してよかったことはなにか」と質問したら、父親、母親ともに「子どもが生まれて楽しい生活になった、子どもたちが順調に育った」と答えている家庭が多かった。このことから、子どもの存在というのは夫婦の結びつきを強め、また結婚生活に潤いを与えてくれるように感じられる。

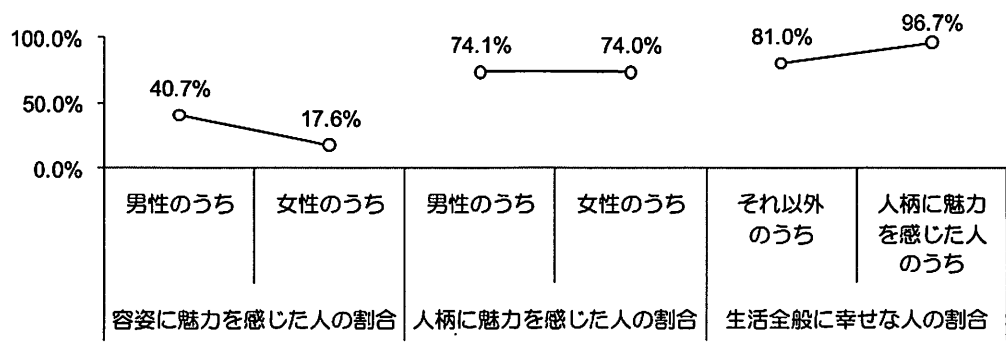
第 6 節 感想

両親にインタビューしたことは少し気恥ずかしかった。けれど、どの親も子どものことを大切に思っているように感じられ、とても嬉しかった。

容姿に魅力を感じている人は、人柄や価値観に魅力を感じる人に比べ、幸福感を得られていないことがわかった。やはり、外面より内面を重視したほうがよいと感じた。

結婚の形は違ってもお互いの価値観さえ合えば、その後の生活が楽しくなるのではないか。これから結婚を迎える私たちにとって、教訓になる分析結果となった。

男性ほど容姿に魅力を感じるが、人柄は男性女性どちらにとっても魅力となっていた。既婚者のうち人柄に惹かれた人は、生活全般に幸せを感じていた



第8章 家電

——テレビゲームは健康に悪いのか——

大熊麻理枝（班長），五十嵐千紘（実査担当），石井彩子（調査票担当），美根徹也（分析担当）

第1節 問題関心

この章では、テレビゲームと健康の関係について調べる。テレビゲームをする人は、夜更かしをしたり、甘い飲み物やカップ麺などをよく摂っているイメージがある。そのため、あまり健康に満足していないのではないかと予想した。

家庭用ゲーム機は、1970年代のアメリカで最初に発売された。その後、日本で1980年代に任天堂からファミリーコンピュータ（ファミコン）が発売された。80年代後半には携帯型ゲーム機のゲームボーイが、90年代になるとスーパーファミコンが発売され爆発的にヒットした。これらをきっかけにして、日本の家庭にテレビゲーム機が広く普及するようになる。現在は、移動中も使える携帯型ゲーム機や、通信機能を備えた機種が登場して、健康や教養を目的としたソフトも多数でている。

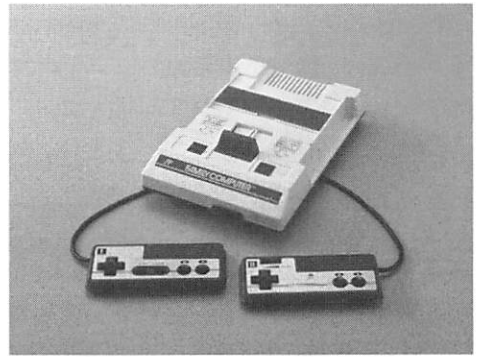
さて、テレビゲームは娯楽として急速に普及した。そのため、保守的な人は否定的なイメージを持っているかもしれない。たとえば、テレビゲームは家でじっとしながら行うことから、運動量や視力の低下を引き起こすと考える人もいるかもしれない。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：男性ほど、若い人ほど、未婚者ほど、テレビゲームでよく遊ぶため、テレビゲーム機を多く持っているだろう。

仮説2：テレビゲーム機を多く持っている人ほど、運動不足になるため、健康に満足していないだろう。

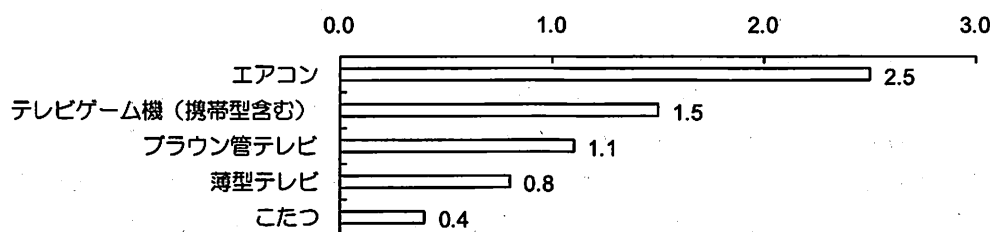


メンバー



テレビゲーム普及の端緒となったファミコン

問 10 お宅には現在、(家族のものを含めて) 以下の家電がいくつありますか (〇はそれぞれ 1 つ)



第 2 節 集計結果

家電をどのくらい持っているかについて問 10 で、「お宅には現在、(家族のものを含めて) 以下の家電がいくつありますか (〇はそれぞれ 1 つ)」として、「ブラウン管テレビ」「薄型テレビ」「エアコン」「テレビゲーム機 (携帯型含む)」「こたつ」の 5 つについて質問した。選択肢は「ない」と「1 個」から「6 個以上」までの 7 個であった。

基礎集計表から、エアコンの保有数をもっとも多く、平均 2.5 個だった。つづいて多かったのがテレビゲーム機で 1.5 個であった。基礎集計表から、テレビゲーム機を保有していない人が全体の 38.6%いた。このことから、ゲームをする人としらない人の差が大きいのだろう。

他には、ブラウン管テレビは 1.1 個、薄型テレビは 0.8 個だった。薄型テレビの方がもっと多いと思っていたため、意外であった。こたつは 0.4 個ともっとも少なかった。こたつの気持ちよさを考えると、もっと多くてもよいのではないかと思った。エアコンや床暖房が普及しているということだろう。

第 3 節 平均の比較

平均の比較から、テレビゲーム機の保有数は、男女別だと男性 1.4 個を女性 1.6 個がやや上回った。年齢別で 30 代以下 1.8 個にたいして、40 代以上 1.3 個で、若い世代の方がテレビゲーム機を多く保有していた。若い世代は子供の頃からテレビゲーム機で遊ぶ機会が多かったため、年配の世代よりもテレビゲームを多く保有しているのだろう。また、既婚未婚別だと、未婚者 1.4 個を既婚者 1.6 個がやや上回った。

したがって、仮説 1 は部分的に支持された。以前は男性が多くテレビゲーム機を利用して、それが、最近ではニンテンドーDS (Dual Screen) や Wii が登場した結果、テレビゲームが女性や子どもにも受け入れやすくなってきたのだろう。

第4節 関連

相関係数から、テレビゲーム機を多く持っている人ほど、家にブラウン管テレビ、薄型テレビ、エアコンを有意にたくさんもっていた（相関係数 0.17, 0.18, 0.17）。ただし、こたつとは関連がなかった（相関係数 0.05）。

仮説 2 では、テレビゲーム機を多く持っている人ほど、健康に満足していないだろうと予想した。しかし、テレビゲーム機の数、健康への幸福度ととくに関連していなかった（相関係数 -0.06）。実際、テレビゲーム機をもっていない人のうち、健康に幸せと感じている人は 87.8% であった。これにたいしてもっている人のうちでは、1 個 77.3%、2 個 87.9%、3 個 87.5% のように大差なかった。したがって、仮説 2 は支持されなかった。

なお、テレビゲーム機をたくさんもっている人ほど、甘い飲み物を有意に常備しており（相関係数 0.17）、またカップ麺も有意に常備していた（相関係数 0.22）。したがって、やや不健康な食生活を送っているとは推測できる。とはいえ、近年では「Wii Fit」や「Wii スポーツ」といった運動型ソフトが人気を集めているように、テレビゲームは主に部屋でじっと座って行うという従来の形から変化しつつあるのかもしれない。

第5節 インタビュー

中古テレビゲーム・CD・DVD を扱うドラマという店で、責任者の方にインタビューを実施した。30 代の男性であった。ドラマは吉祥寺の中心的な商店街サンロードにある。

「どのようなお客さんが多いのでしょうか」。

「そうですね。お客様は 20 代から 30 代の若い世代の男性が中心ですね。しかし、最近では若い女性や子供連れの主婦の方なども多いかな」。

インタビューに伺った際も、店内には子供連れの主婦の方の姿が見られた。

「テレビゲームではどのような商品が売れ筋なのでしょう」。

「売れている商品はやはり、ソフトも本体も DS が人気ですね。その次が Wii、PSP（プレイステーションポータブル）といった感じでしょうか」。

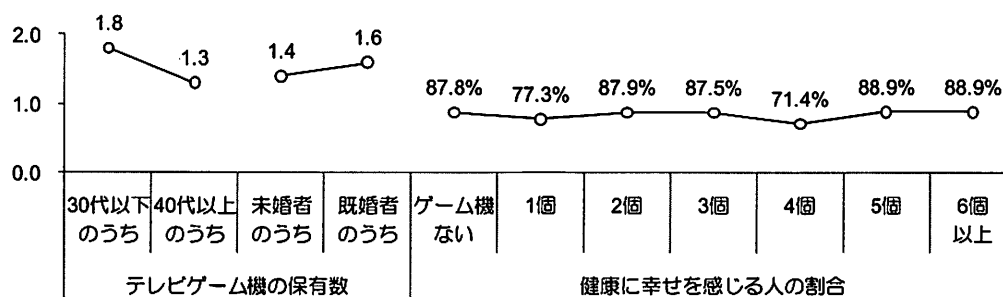
日本における累計販売台数が 2008 年 2 月に 2,200 万台超に達した DS が、一番の売れ筋のようだ。英語の We をイメージして「家族の誰もが楽しめる」というコンセプトの Wii も人気がある。休日などに、家族でゲームを楽しんでいる方が多いのではないかと、このことであった。

以上から、客層は若い世代が中心で、男女や未婚既婚の違いはほとんどないという仮説 1 の検証結果と、一致した。

第6節 感想

私たちの班では、テレビゲームにたいして少なからずネガティブなイメージを抱いていた。今回の調査で、そうしたイメージを払拭できたので良かった。質問の聞き方が、割合ではな

若い人ほど、また既婚者ほどテレビゲーム機をもっている。ただし、たくさんもっていたとしても、健康に悪影響はない



く個数だったので、分析で苦労したが、大変よい経験になった。

考察の結果、性別や未婚既婚は関係なく多くの人がゲーム機を利用していることが分かった。昔は一人でゲームをすることが多かったが、最近では大人数でやるゲーム機が多くなっている。また、PSP や DS は通信機能を使用して友人同士でゲームをプレイすることが可能となり、テレビゲーム機は家族との団欒や友人とのコミュニケーションに役立っているようだ。また、健康や教養を目的としたソフトも増えてきて、若い世代だけではなく年配の人も利用しはじめているようだ。

A 基礎集計表、平均の比較、相関係数

平均の比較では男女、30代以下と40代以上、未婚者と既婚者の比較をおこなった。相関係数では、変数が多い場合人数の多い8つまでとした。

問1 あなたはこれまで、吉祥寺駅前のハーモニカ横丁にいったことがありますか（〇は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	15	7.0	7.1	7.1
1 ある	195	90.7	92.9	100.0
有効回答計	210	97.7	100.0	
999 無回答	5	2.3		
合計	215	100.0		

平均の比較（%）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
ハーモニカ横丁にいったことがある	92.9	87.7	96.8	90.1	96.5	91.8	94.5

問2 あなたは、ハーモニカ横丁についてどのようなイメージを持っていますか（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 フラッと立ちよれる	61	28.4	28.6	
2 迷路のよう	107	49.8	50.2	
3 昭和の雰囲気が残る	140	65.1	65.7	
4 昼に活気がある	15	7.0	7.0	
5 夜に活気がある	36	16.7	16.9	
6 いくとワクワクする	43	20.0	20.2	
7 吉祥寺の象徴といえる	86	40.0	40.4	
8 これからも残ってほしい	125	58.1	58.7	
99 どれも当てはまらない	17	7.9	8.0	
有効回答計	213	99.1	100.0	
999 無回答	2	0.9		
合計	215	100.0		

平均の比較（%）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 フラッと立ちよれる	28.6	23.5	32.6	21.3	36.3	24.2	33.3
2 迷路のよう	50.2	39.5	57.4	58.5	45.1	46.5	54.1
3 昭和の雰囲気が残る	65.7	61.7	67.4	62.8	67.3	63.6	66.7
4 昼に活気がある	7.0	6.2	7.8	10.6	4.4	7.1	7.2
5 夜に活気がある	16.9	21.0	14.7	20.2	15.0	19.2	15.3

6	いくとワクワクする	20.2	19.8	20.2	28.7	13.3	19.2	20.7
7	吉祥寺の象徴といえる	40.4	42.0	39.5	33.0	48.7	32.3	47.7
8	これからも残ってほしい	58.7	50.6	64.3	59.6	58.4	56.6	61.3
99	どれもあてはまらない	8.0	12.3	5.4	10.6	5.3	11.1	5.4

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 フラッと立ちよれる								
2 迷路のよう	.070							
3 昭和の雰囲気が残る	-.024	-.105						
4 昼に活気がある	.191**	.164*	.044					
5 夜に活気がある	.130	.148*	.088	.365**				
6 いくとワクワクする	.199**	.080	.067	.227**	.241**			
7 吉祥寺の象徴といえる	.262**	.092	.110	.147*	.140*	.182**		
8 これからも残ってほしい	.215**	.061	.258**	.082	.175*	.303**	.360**	

問3 あなたは以下のことを、どれくらいしますか (○はそれぞれ1つ)

ア) コミュニティセンターに行く

	人数	%	有効%	累積%
0 まったくない	86	40.0	40.6	40.6
1 したことはある	65	30.2	30.7	71.2
2 年に数回くらい	40	18.6	18.9	90.1
3 月1回くらい	16	7.4	7.5	97.6
4 週1回くらい	5	2.3	2.4	100.0
5 ほぼ毎日	0	0	0	100.0
有効回答計	212	98.6		
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

イ) 市内の寺院・神社・教会に行く

	人数	%	有効%	累積%
0 まったくない	45	20.9	21.4	21.4
1 したことはある	69	32.1	32.9	54.3
2 年に数回くらい	76	35.3	36.2	90.5
3 月1回くらい	14	6.5	6.7	97.1
4 週1回くらい	4	1.9	1.9	99.0
5 ほぼ毎日	2	.9	1.0	100.0
有効回答計	210	97.7	100.0	
999 無回答	5	2.3		
合計	215	100.0		

ウ) ムーバスに乗る

	人数	%	有効%	累積%
0 まったくない	72	33.5	34.4	34.4
1 したことはある	34	15.8	16.3	50.7
2 年に数回	41	19.1	19.6	70.3
3 月1回くらい	40	18.6	19.1	89.5
4 週1回くらい	20	9.3	9.6	99.0
5 ほぼ毎日	2	0.9	1.0	100.0
有効回答計	209	97.2	100.0	
999 無回答	6	2.8		
合計	215	100.0		

エ) 市役所や市政センターに行く

	人数	%	有効%	累積%
0 まったくない	8	3.7	3.8	3.8
1 したことはある	57	26.5	27.3	31.1
2 年に数回	123	57.2	58.9	90.0
3 月1回くらい	18	8.4	8.6	98.6
4 週1回くらい	1	0.5	0.5	99.0
5 ほぼ毎日	2	0.9	1.0	100.0
有効回答計	209	97.2	100.0	
999 無回答	6	2.8		
合計	215	100.0		

平均の比較（年数回以上の%）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア コミュニティセンター	28.8	18.5	35.9	22.3	35.7	16.2	40.9
イ 市内の寺院・神社・教会	45.7	44.4	47.6	28.0	60.4	30.6	60.6
ウ ムーバス	49.3	38.0	55.9	43.5	54.5	33.3	62.7
エ 市役所や市政センター	68.9	63.0	72.8	63.4	73.9	63.3	74.1

相関係数（年数回以上について）（*有意確率 5%未満, **1%未満）

	ア	イ	ウ	エ
ア コミュニティセンター				
イ 市内の寺院・神社・教会	.277**			
ウ ムーバス	.300**	.249**		
エ 市役所や市政センター	.261**	.177*	.230**	

問 4 あなたはこれまで、どのようにコミュニティセンターを利用したことがありますか（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 教室や講演会に参加	28	13.0	13.3	
2 イベントに参加する	39	18.1	18.5	

3 フラッと立ちよる	24	11.2	11.4
4 勉強する	19	8.8	9.0
5 部屋を借りる	44	20.5	20.9
6 住民総会に参加する	18	8.4	8.5
7 運営に関わる	4	1.9	1.9
8 その他	1	0.5	0.5
8_1 (新設) 選挙投票に行く	10	4.7	4.7
99 利用したことがない	88	40.9	41.7
有効回答計	211	98.1	100.0
999 無回答	4	1.9	
合計	215	100.0	

その他：「選挙」6 ケース、「選挙投票」2 ケース、「投票」、「選挙や展示」（以上 8_1 として集計）、「学校行事」、「牛乳パック回収」、「子供が遊んでいるので様子を見に行く」、「子供の付き添い」、「イベント参加」、「卓球」、「タバコを吸いに」、「団体利用」、「ボランティアで手伝い」、「物を借りた」。

平均の比較（％）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 教室や講演会に参加	13.3	7.4	17.3	4.3	20.5	7.1	19.1
2 イベントに参加する	18.5	9.9	24.4	8.6	26.8	5.1	30.9
3 フラッと立ち寄る	11.4	16.0	8.7	12.9	10.7	8.2	14.5
4 勉強する	9.0	3.7	12.6	10.8	8.0	10.2	8.2
5 部屋を借りる	20.9	6.2	30.7	15.1	25.9	12.2	29.1
6 住民総会に参加する	8.5	12.3	6.3	2.2	14.3	4.1	12.7
7 運営に関わる	1.9	0.0	3.1	1.1	2.7	1.0	2.7
8 その他	0.5	0.0	0.8	1.1	0.0	1.0	0.0
8_1 選挙投票に行く	4.7	2.5	6.3	5.4	4.5	7.1	2.7
99 利用したことがない	41.7	53.1	33.1	57.0	28.6	55.1	28.2

相関係数（*有意確率 5%未満, **1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 教室や講演会に参加							
2 イベントに参加する	.246**						
3 フラッと立ち寄る	-.052	.022					
4 勉強する	.072	-.022	.044				
5 部屋を借りる	.040	.176*	-.037	.124			
6 住民総会に参加する	.081	.117	-.056	-.096	.010		
7 運営に関わる	.048	.023	-.050	-.044	.014	-.042	

問 5 あなたはこれまで、市内の寺院・神社・教会でどのようなことをしたことがありますか（○はいいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 初詣	129	60.0	60.6	
2 お墓参り	7	3.3	3.3	
3 お葬式に参加	37	17.2	17.4	

4 お祭りに参加	79	36.7	37.1
5 バザーに参加	5	2.3	2.3
6 クリスマスに参加	1	0.5	0.5
7 教室、習い事、講演に参加	2	0.9	0.9
8 定期的な集会に参加	3	1.4	1.4
9 散歩する	78	36.3	36.3
10 その他	7	3.3	3.3
99 どれもしたことがない	45	20.9	21.1
有効回答計	213	99.1	100.0
999 無回答	2	0.9	
合計	215	100.0	

その他：「お宮参り」、「15 日におまいり」、「お礼参り」、「参拝」2 ケース、「苦しい時の神頼み」、「酉の市」、「ボーイスカウト活動」。

平均の比較 (%)

	全体	男性	女性	30 代 以下	40 代 以上	未婚	既婚
1 初詣	60.6	61.7	60.5	48.9	70.8	48.5	72.1
2 お墓参り	3.3	2.5	3.9	2.1	4.4	3.0	3.6
3 お葬式に参加	17.4	12.3	20.9	6.4	25.7	9.1	25.2
4 お祭りに参加	37.1	40.7	35.7	28.7	44.2	28.3	45.9
5 バザーに参加	2.3	3.7	1.6	1.1	3.5	0.0	4.5
6 クリスマスに参加	0.5	0.0	0.8	0.0	0.9	0.0	0.9
7 教室・習い事・講演に参加	0.9	1.2	0.8	0.0	1.8	0.0	1.8
8 定期的な集会に参加	1.4	2.5	0.8	1.1	1.8	1.0	1.8
9 散歩する	36.6	44.4	32.6	33.0	41.6	36.4	37.8
10 その他	3.3	3.7	3.1	2.1	4.4	3.0	3.6
99 どれもしたことがない	21.1	21.0	20.2	28.7	14.2	30.3	11.7

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 初詣									
2 お墓参り	.149*								
3 お葬式に参加	.243**	.333**							
4 お祭りに参加	.341**	.240**	.289**						
5 バザーに参加	-.002	-.029	.093	.074					
6 クリスマスに参加	.055	-.013	-.031	.089	-.011				
7 教室・講演に参加	.079	-.018	-.045	.127	.306**	-.007			
8 定期集会に参加	-.067	.201**	.050	-.009	.245**	-.008	-.012		
9 散歩する	.095	.024	.063	.102	.011	-.052	.128	-.008	

問 6 あなたは、武蔵野市の以下の点について、満足していますか (○はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 自然環境	166	77.2	77.9	
2 鉄道やバスの公共交通	100	67.0	67.6	
3 地域の人同士の交流	19	8.8	8.9	

4 住民の多様さ（年齢，暮らし向き，国籍など）	45	20.9	21.1
5 市政への住民参加	12	5.6	5.6
6 歴史や伝統	23	10.7	10.8
99 どれにも満足していない	11	5.1	5.2
有効回答計	213	99.1	100.0
999 無回答	2	0.9	
合計	215	100.0	

平均の比較（％）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 自然環境	77.9	76.5	78.3	73.4	82.3	73.7	81.1
2 鉄道やバスの公共交通	67.6	67.9	67.4	61.7	73.5	64.6	70.3
3 地域の人同士の交流	8.9	4.9	11.6	8.5	9.7	5.1	12.6
4 住民の多様さ	21.1	14.8	25.6	25.5	16.8	25.3	18.0
5 市政への住民参加	5.6	2.5	7.8	2.1	8.0	2.0	9.0
6 歴史や伝統	10.8	11.1	10.9	5.3	15.0	8.1	13.5
99 どれにも満足していない	5.2	6.2	4.7	7.4	2.7	4.0	6.3

相関係数（*有意確率 5%未満，**1%未満）

	1	2	3	4	5	6
1 自然環境						
2 鉄道やバスの公共交通	.019					
3 地域の人同士の交流	.087	.111				
4 住民の多様さ	.137*	.088	.201**			
5 市政への住民参加	.032	.039	.209**	.073		
6 歴史や伝統	.112	.047	.210**	.228**	.112	

問7 ムーバスについて今後、どのような改善をしてほしいですか（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 路線が増える	76	35.3	35.7	
2 遅い時間まで運行する	92	42.8	43.2	
3 本数が増える	61	28.4	28.6	
4 料金が安くなる	14	6.5	6.6	
5 ムーバス同士の乗りつぎが割引になる	23	10.7	10.8	
6 パスモやスイカが使える	86	40.0	40.4	
7 その他	6	2.8	2.8	
7_1（新設） 乗ったことがない，知らない	9	4.2	4.2	
99 現状のままでよい	36	16.7	16.9	
有効回答計	213	99.1	100.0	
999 無回答	2	0.9		
合計	215	100.0		

その他：「乗ったことがない」4 ケース，「乗ったことがないのでわからない」3 ケース，「乗りません」，「ムーバスを知らない」（以上 7_1 として集計），「一路線で左回りから右回りも運転してほしい」，「エンジンの振動を軽減する」，「境から市役所に行く路線を作してほしい」，「市役所行き

を臨む」,「通勤時間（7 時台）の運行があると便利」,「早い時間の運行」3 ケース,「全く利用できない地域に住んでいるので不平等感を持っている」。

平均の比較（％）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 路線が増える	35.7	29.6	40.3	31.9	38.9	32.3	39.6
2 遅い時間まで運行する	43.2	43.2	43.4	39.4	46.0	41.4	45.0
3 本数が増える	28.6	23.5	31.8	27.7	30.1	25.3	31.5
4 料金が安くなる	6.6	7.4	6.2	7.4	6.2	8.1	5.4
5 乗りつぎが割引になる	10.8	6.2	13.2	8.5	11.5	8.1	12.6
6 パスモやスイカが使える	40.4	30.9	45.0	42.6	37.2	44.4	35.1
7 その他	2.8	2.5	3.1	3.2	2.7	2.0	3.6
7_1 乗ったことがない	4.2	6.2	3.1	4.3	3.5	4.0	4.5
99 現状のままでよい	16.9	21.0	14.7	19.1	15.0	19.2	15.3

相関係数（*有意確率 5%未満, **1%未満）

	1	2	3	4	5	6
1 路線が増える						
2 遅い時間まで運行する	.023					
3 本数が増える	.200**	.077				
4 料金が安くなる	.000	.075	.000			
5 乗りつぎが割引になる	.025	.185**	.081	.091		
6 パスモやスイカが使える	.106	.229**	.050	.013	.176**	

問 8 あなたのお宅では、以下の食料品を常備していますか（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 牛乳	139	64.7	65.3	
2 コーラなどの甘い飲み物	33	15.3	15.5	
3 カップ麺	87	40.5	40.8	
4 乾燥ワカメなどの海藻	124	57.7	58.2	
5 サプリメント	84	39.1	39.4	
99 どれも常備はしてない	23	10.7	10.8	
有効回答計	213	99.1	100.0	
999 無回答	2	0.9		
合計	215	100.0		

平均の比較（％）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 牛乳	65.3	56.8	72.1	54.3	75.2	49.5	81.1
2 コーラなどの甘い飲み物	15.5	13.6	17.1	16.0	15.0	16.2	15.3
3 カップ麺	40.8	39.5	41.9	36.2	43.4	34.3	46.8
4 乾燥ワカメなどの海藻	58.2	50.6	64.3	51.1	64.6	44.4	72.1
5 サプリメント	39.4	39.5	40.3	31.9	44.2	38.4	41.4
99 どれも常備はしてない	10.8	16.0	6.2	13.8	7.1	18.2	2.7

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	1	2	3	4	5
1 牛乳					
2 コーラなどの甘い飲み物	.067				
3 カップ麺	.125	.357**			
4 乾燥ワカメなどの海藻	.301**	.073	.104		
5 サプリメント	.145*	.132	.189**	.138*	

問9 あなたは以下のことを、1週間にどれくらいしますか (○はそれぞれ1つ)

ア) 仕事, パート, バイトに行く

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	51	23.7	24.1	24.1
1 1日	5	2.3	2.4	26.4
2 2日	12	5.6	5.7	32.1
3 3日	8	3.7	3.8	35.8
4 4日	106	49.3	50.0	85.8
5 5日	28	13.0	13.2	99.1
6 6日	2	0.9	0.9	100.0
7 7日	51	23.7	24.1	24.1
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	5	3.0	1.4	
合計	215	100.0		

イ) テレビを見る

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	7	3.3	3.3	3.3
1 1日	7	3.3	3.3	6.6
2 2日	3	1.4	1.4	8.1
3 3日	7	3.3	3.3	11.4
4 4日	3	1.4	1.4	12.8
5 5日	7	3.3	3.3	16.1
6 6日	5	2.3	2.4	18.5
7 7日	172	80.0	81.5	100.0
有効回答計	211	98.1	100.0	
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

ウ) テレビでスポーツ観戦する

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	103	47.9	49.0	49.0
1 1日	51	23.7	24.3	73.3
2 2日	17	7.9	8.1	81.4

3 3日	19	8.8	9.0	90.5
4 4日	5	2.3	2.4	92.9
5 5日	3	1.4	1.4	94.3
6 6日	3	1.4	1.4	95.7
7 7日	9	4.2	4.3	100.0
有効回答計	210	97.7	100.0	
999 無回答	5	2.3		
合計	215	100.0		

エ) 1時間以上あるく

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	85	39.5	40.3	40.3
1 1日	36	16.7	17.1	57.3
2 2日	30	14.0	14.2	71.6
3 3日	16	7.4	7.6	79.1
4 4日	9	4.2	4.3	83.4
5 5日	17	7.9	8.1	91.5
6 6日	6	2.8	2.8	94.3
7 7日	12	5.6	5.7	100.0
有効回答計	211	98.1	100.0	
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

オ) 買い物でエコバッグを使う

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	68	31.6	32.1	32.1
1 1日	20	9.3	9.4	41.5
2 2日	26	12.1	12.3	53.8
3 3日	21	9.8	9.9	63.7
4 4日	17	7.9	8.0	71.7
5 5日	15	7.0	7.1	78.8
6 6日	8	3.7	3.8	82.5
7 7日	37	17.2	17.5	100.0
有効回答計	210	98.6	100.0	
999 無回答	5	1.4		
合計	215	100.0		

カ) 家で料理をする

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	45	20.9	21.2	21.2
1 1日	18	8.4	8.5	29.7
2 2日	15	7.0	7.1	36.8
3 3日	13	6.0	6.1	42.9
4 4日	18	8.4	8.5	51.4
5 5日	12	5.6	5.7	57.1

6 6日	22	10.2	10.4	67.5
7 7日	69	32.1	32.5	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

キ) 夫婦や恋人と二人だけで過ごす

	人数	%	有効%	累積%
0 それ以下	97	45.1	46.4	46.4
1 1日	31	14.4	14.8	61.2
2 2日	20	9.3	9.6	70.8
3 3日	7	3.3	3.3	74.2
4 4日	2	0.9	1.0	75.1
5 5日	7	3.3	3.3	78.5
6 6日	3	1.4	1.4	79.9
7 7日	42	19.5	20.1	100.0
有効回答計	209	97.2	100.0	
999 無回答	6	2.8		
合計	215	100.0		

平均の比較 (日)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア 仕事、パート、バイトに行く	3.7	4.3	3.4	4.4	3.2	4.4	3.1
イ テレビを見る	6.2	6.0	6.4	6.0	6.4	6.1	6.3
ウ テレビでスポーツ観戦する	1.2	1.3	1.2	0.7	1.7	0.9	1.6
エ 1時間以上歩く	1.8	2.1	1.7	1.6	1.9	1.8	1.9
オ 買い物でエコバッグを使う	2.8	1.3	3.7	2.1	3.4	2.2	3.3
カ 家で料理をする	3.9	2.1	5.1	3.3	4.4	3.1	4.7
キ 夫婦や恋人と二人だけで過ごす	2.1	2.1	2.1	1.8	2.4	1.4	2.7

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
ア 仕事、パート、バイト							
イ テレビを見る	-.110						
ウ テレビでスポーツ観戦	-.250**	.189**					
エ 1時間以上歩く	-.099	.101	.154*				
オ エコバッグを使う	-.327**	.177**	.125	.202**			
カ 家で料理をする	-.354**	.197**	.086	.101	.566**		
キ 夫婦や恋人と過ごす	-.106	.106	.189**	-.028	.057	.161*	

問 10 お宅には現在、(家族のものも含めて) 以下の家電がいくつありますか (〇はそれぞれ 1 つ)

ア) ブラウン管テレビ

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	82	33.0	33.8	33.8
1 1個	100	38.6	39.5	73.3
2 2個	21	16.7	17.1	90.5
3 3個	3	7.0	7.1	97.6
4 4個	2	1.9	1.9	99.5
5 5個	0	0.0	0.0	99.5
6 6個以上	1	0.5	0.5	100.0
有効回答計	210	97.7	100.0	
999 無回答	5	2.3		
合計	215	100.0		

イ) 薄型テレビ

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	82	38.1	39.0	39.0
1 1個	100	46.5	47.6	86.7
2 2個	21	9.8	10.0	96.7
3 3個	3	1.4	1.4	98.1
4 4個	2	0.9	1.0	99.0
5 5個	0	0.0	0.0	99.0
6 6個以上	2	0.9	1.0	100.0
有効回答計	210	97.7	100.0	
999 無回答	5	2.3		
合計	215	100.0		

ウ) エアコン

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	4	1.9	1.9	1.9
1 1個	71	33.0	33.5	35.4
2 2個	45	20.9	21.2	56.6
3 3個	38	17.7	17.9	74.5
4 4個	25	11.6	11.8	86.3
5 5個	19	8.8	9.0	95.3
6 6個以上	10	4.7	4.7	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

エ) テレビゲーム機（携帯型含む）

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	83	38.6	39.2	39.2
1 1個	45	20.9	21.2	60.4
2 2個	33	15.3	15.6	75.9

3 3個	24	11.2	11.3	87.3
4 4個	7	3.3	3.3	90.6
5 5個	10	4.7	4.7	95.3
6 6個以上	10	4.7	4.7	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

オ) こたつ

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	132	61.4	62.3	62.3
1 1個	73	34.0	34.4	96.7
2 2個	6	2.8	2.8	99.5
3 3個	1	0.5	0.5	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

平均の比較（個数）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア ブラウン管テレビ	1.1	1.0	1.1	0.9	1.2	1.0	1.1
イ 薄型テレビ	0.8	0.6	0.9	0.8	0.8	0.7	0.9
ウ エアコン	2.5	2.3	2.6	2.1	2.8	1.9	3.1
エ テレビゲーム機（携帯型含む）	1.5	1.4	1.6	1.8	1.3	1.4	1.6
オ こたつ	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

相関係数（*有意確率5%未満, **1%未満）

	ア	イ	ウ	エ	オ
ア ブラウン管テレビ					
イ 薄型テレビ	-.059				
ウ エアコン	.277**	.457**			
エ テレビゲーム機	.169*	.177*	.166*		
オ こたつ	.173*	.011	.193**	.051	

問 11 あなたは、環境にかんする武蔵野市の取り組みについて、どれを聞いたことがありますか(○はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 パーク・アンド・バスライド（マイカーとムーバスを組みあわせる）	55	25.6	25.9	
2 武蔵野打ち水大作戦（夏に道路に水をまく）	61	28.4	28.8	
3 武蔵野ごみチャレンジ 700 グラム（1人1日のごみを700グラム以下にする）	125	58.1	59.0	
4 朝一番隊（日曜朝 8～9 時に駅前でごみ拾いをする）	45	20.9	21.2	

99 どれも聞いたことがない	60	27.9	28.3
有効回答計	212	98.6	100.0
999 無回答	3	1.4	
合計	215	100.0	

平均の比較 (%)

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 パーク・アンド・バスライド	25.9	23.5	27.5	16.0	34.5	18.2	32.7
2 武蔵野市打ち水大作戦	28.8	14.8	37.4	18.1	37.2	17.2	38.9
3 武蔵野ごみチャレンジ 700 グラム	59.0	43.2	68.7	47.9	68.1	49.5	67.3
4 朝一番隊	21.2	13.6	26.0	12.8	28.3	21.2	21.2
99 どれも聞いたことがない	28.3	39.5	21.4	41.5	16.8	40.4	17.7

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	1	2	3	4
1 パーク&バスライド				
2 武蔵野市打ち水大作戦	.266**			
3 武蔵野ごみチャレンジ	.209**	.297**		
4 朝一番隊	.193**	.231**	.245**	

問 12 あなたはこれまで、環境に配慮してどのようなことをしたことがありますか (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 パーク・アンド・バスライド	0	0.0	0.0	
2 打ち水	41	19.1	19.3	
3 1日のごみを 700 グラム以下にする	46	21.4	21.7	
4 朝一番隊に参加する	1	0.5	0.5	
5 買い物でエコバッグを使う	158	73.5	73.8	
6 省エネグッズ (半袖スーツ) を着る	26	12.1	12.3	
7 夏にエアコンを 28 度以上にする (クールビズ)	102	47.4	48.1	
8 冬にエアコンを 20 度以下にする (ウォームビズ)	70	32.6	33.0	
9 通勤通学にマイカーを使わない	85	39.5	40.1	
10 その他	16	7.4	7.5	
99 どれもしたことがない	17	7.9	8.0	
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

その他:「植木(地植)を増やす」、「環境にやさしい洗剤を使う」、「グリーンカーテン」、「化粧品、日用品をエコにする」、「ゴミの分別」、「太陽光発電設置」、「タバコはすわない」、「電気プラグを必ず外出時に抜く。冷房暖房はめったに使用しない、米のとぎ汁を植木にやる」、「電気をこまめに消す。節水」、「生ごみの堆肥化」、「一駅先なら歩く。二駅先なら自転車で行く」、「不必要なものを家に持ち込まない」、「ベランダに多量の鉢植え」、「ベランダ緑化」、「マイボトル利用」、「マイボトルを持参し、なるべくペットボトルを買わない」。

平均の比較 (%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 パーク・アンド・バスライド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 打ち水	19.3	16.0	21.4	12.8	23.9	13.1	24.8
3 1日のごみを700グラム以下にする	21.7	17.3	24.4	9.6	32.7	19.2	23.9
4 朝一番隊に参加する	0.5	0.0	0.8	0.0	0.9	0.0	0.9
5 買い物でエコバッグを使う	73.6	53.1	86.3	64.2	82.5	65.7	80.5
6 省エネルック	12.3	19.8	7.6	7.4	16.8	9.1	15.0
7 クールビズ	48.1	39.5	53.4	44.7	52.2	46.5	49.6
8 ウォームビズ	33.0	28.4	35.9	31.9	34.5	31.3	34.5
9 通勤通学にマイカーを使わない	40.1	40.7	39.7	34.0	45.1	38.4	41.6
10 その他	7.5	4.9	9.2	4.3	10.6	6.1	8.8
99 どれもしたことがない	8.0	18.5	1.5	13.8	3.5	12.1	4.4

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	2	3	4	5	6	7	8	9
2 打ち水								
3 ごみを700グラム以下	.119							
4 朝一番隊に参加する	.141*	.131						
5 エコバッグを使う	.077	.134	.041					
6 省エネルック	.072	.082	-.026	-.004				
7 クールビズ	.102	.020	-.066	.106	.014			
8 ウォームビズ	.012	.068	-.048	.079	.043	.488**		
9 マイカーを使わない	.038	.060	-.056	-.034	.310**	.118	.101	

問 13 あなたは現在、以下のことについて、どれくらい幸せと感じていますか (〇はそれぞれ 1 つ)

ア) 武蔵野市に住んでいること

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	1	0.5	0.5	0.5
2 やや不幸	8	3.7	3.8	4.2
3 やや幸せ	82	38.1	38.7	42.9
4 幸せ	121	56.3	57.1	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

イ) 生活全般

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	5	2.3	2.4	2.4
2 やや不幸	14	6.5	6.6	9.0
3 やや幸せ	113	52.6	53.3	62.3

4 幸せ	80	37.2	37.7	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

ウ) 仕事（パート、バイトも）

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	5	2.3	2.9	2.9
2 やや不幸	29	13.5	17.1	20.0
3 やや幸せ	93	43.3	54.7	74.7
4 幸せ	43	20.0	25.3	100.0
有効回答計	170	79.1	100.0	
99 仕事なし	41	19.1		
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

エ) 健康

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	6	2.8	2.8	2.8
2 やや不幸	25	11.6	11.8	14.7
3 やや幸せ	102	47.4	48.3	63.0
4 幸せ	78	36.3	37.0	100.0
有効回答計	211	98.1	100.0	
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

オ) 家族

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	6	2.8	2.9	2.9
2 やや不幸	20	9.3	9.6	12.4
3 やや幸せ	66	30.7	31.6	44.0
4 幸せ	117	54.4	56.0	100.0
有効回答計	209	97.2	100.0	
999 無回答	6	2.8		
合計	215	100.0		

カ) 友人関係

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	4	1.9	1.9	1.9
2 やや不幸	16	7.4	7.6	9.5
3 やや幸せ	95	44.2	45.0	54.5
4 幸せ	96	44.7	45.5	100.0
有効回答計	211	98.1	100.0	
999 無回答	4	1.9		

合計	215	100.0
----	-----	-------

キ) 現在の家計状況

	人数	%	有効%	累積%
1 不幸	15	7.0	7.1	7.1
2 やや不幸	58	27.0	27.6	34.8
3 やや幸せ	83	38.6	39.5	74.3
4 幸せ	54	25.1	25.7	100.0
有効回答計	210	97.7	100.0	
999 無回答	5	2.3		
合計	215	100.0		

平均の比較（やや幸せ，幸せの合計%）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
ア 武蔵野市に住んでいること	95.8	93.8	96.9	95.7	96.5	96.0	95.6
イ 生活全般	91.0	84.0	95.4	91.5	91.2	87.9	93.8
ウ 仕事	80.0	77.8	81.6	76.7	84.0	70.8	90.1
エ 健康	85.3	81.5	87.7	85.1	85.0	77.8	92.0
オ 家族	87.6	78.2	93.1	87.2	88.2	79.2	94.7
カ 友人関係	90.5	85.0	93.9	89.4	92.0	85.7	94.7
キ 現在の家計状況	65.2	58.0	69.8	65.6	64.3	54.1	75.0

相関係数（*有意確率 5%未満，**1%未満）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
ア 武蔵野市に居住							
イ 生活全般	.589**						
ウ 仕事	.236**	.467**					
エ 健康	.310**	.337**	.208**				
オ 家族	.277**	.536**	.265**	.495**			
カ 友人関係	.332**	.294**	.191*	.368**	.419**		
キ 現在の家計状況	.241**	.397**	.453**	.174*	.284**	.209**	

問 14 あなたにとって、これまでの学校生活は、どれくらい楽しかったですか（○はそれぞれ 1 つ）

ア) 幼稚園，保育園

	人数	%	有効%	累積%
1 楽しくなかった	11	5.1	6.0	6.0
2 やや楽しくなかった	20	9.3	10.9	16.8
3 やや楽しかった	71	33.0	38.6	55.4
4 楽しかった	82	38.1	44.6	100.0
有効回答計	184	85.6	100.0	
99 いっていない	26	12.1		
999 無回答	5	2.3		

合計	215	100.0
----	-----	-------

イ) 小学校

	人数	%	有効%	累積%
1 楽しくなかった	12	5.6	5.7	5.7
2 やや楽しくなかった	32	14.9	15.1	20.8
3 やや楽しかった	87	40.5	41.0	61.8
4 楽しかった	81	37.7	38.2	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

ウ) 中学校

	人数	%	有効%	累積%
1 楽しくなかった	13	6.0	6.1	6.1
2 やや楽しくなかった	32	14.9	15.1	21.2
3 やや楽しかった	82	38.1	38.7	59.9
4 楽しかった	85	39.5	40.1	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

エ) 高校

	人数	%	有効%	累積%
1 楽しくなかった	11	5.1	5.3	5.3
2 やや楽しくなかった	25	11.6	12.1	17.4
3 やや楽しかった	67	31.2	32.4	49.8
4 楽しかった	104	48.4	50.2	100.0
有効回答計	207	96.3	100.0	
99 いない	5	2.3		
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

オ) 大学

	人数	%	有効%	累積%
1 楽しくなかった	6	2.8	4.0	4.0
2 やや楽しくなかった	11	5.1	7.3	11.3
3 やや楽しかった	58	27.0	38.4	49.7
4 楽しかった	76	35.3	50.3	100.0
有効回答計	151	70.2	100.0	
99 いない	60	27.9		
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

平均の比較（やや楽しかった、楽しかったの合計％）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア 幼稚園、保育園	83.2	76.8	87.0	87.2	77.9	87.4	79.4
イ 小学校	79.2	71.6	84.0	84.0	74.3	77.8	80.5
ウ 中学校	78.8	71.6	83.2	79.8	77.0	76.8	80.5
エ 高校	82.6	77.2	85.9	81.9	83.5	80.4	84.5
オ 大学	88.7	84.6	90.9	87.1	89.7	90.9	87.1

相関係数（*有意確率 5%未満，**1%未満）

	ア	イ	ウ	エ	オ
ア 幼稚園、保育園					
イ 小学校	.497**				
ウ 中学校	.390**	.559**			
エ 高校	.336**	.244**	.402**		
オ 大学	.081	.020	.138	.226**	

問 15 あなたの中学時代で、どのようなことが「よい思い出」でしたか（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 入学式	8	3.7	3.8	
2 登下校	37	17.2	17.5	
3 席替え	18	8.4	8.5	
4 クラス替え	12	5.6	5.7	
5 給食、お弁当	32	14.9	15.1	
6 部活動	116	54.0	54.7	
7 友人	117	54.4	55.2	
8 恋愛	37	17.2	17.5	
9 遠足	30	14.0	14.2	
10 球技・体育大会	62	28.8	29.2	
11 文化祭	45	20.9	21.2	
12 修学旅行	92	42.8	43.4	
13 高校受験、就職活動	22	10.2	10.4	
14 卒業式	29	13.5	13.7	
99 特にない	21	9.8	9.9	
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

平均の比較（％）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 入学式	3.8	7.4	1.5	3.2	4.4	2.0	5.3
2 登下校	17.5	14.8	19.1	20.2	15.9	17.2	17.7
3 席替え	8.5	11.1	6.9	10.6	5.3	7.1	9.7
4 クラス替え	5.7	9.9	3.1	5.3	5.3	5.1	6.2
5 給食、お弁当	15.1	17.3	13.7	13.8	15.9	14.1	15.9

6 部活動	54.7	55.6	54.2	59.6	51.3	55.6	54.0
7 友人	55.2	46.9	60.3	57.4	54.0	57.6	53.1
8 恋愛	17.5	23.5	13.7	24.5	11.5	21.2	14.2
9 遠足	14.2	12.3	15.3	12.8	15.9	11.1	16.8
10 球技・体育大会	29.2	27.2	30.5	28.7	31.0	27.3	31.0
11 文化祭	21.2	14.8	25.2	22.3	21.2	18.2	23.9
12 修学旅行	43.4	45.7	42.0	35.1	48.7	40.4	46.0
13 高校受験、就職活動	10.4	9.9	10.7	6.4	13.3	7.1	13.3
14 卒業式	13.7	11.1	15.3	8.5	15.9	11.1	15.9
99 特にない	9.9	13.6	7.6	12.8	8.0	9.1	10.6

相関係数（*有意確率 5%未満，**1%未満）

	2	5	6	7	8	10	11	12
2 登下校								
5 給食、お弁当	.153*							
6 部活動	-.006	.066						
7 友人	.189**	.194**	-.019					
8 恋愛	.181**	.153*	.044	.239**				
10 球技・体育大会	.005	.221**	.293**	.162*	.141*			
11 文化祭	.126	.200**	.125	.166*	.096	.148*		
12 修学旅行	.049	.295**	.051	.177**	.149*	.316**	.244**	

問 16 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか（○は義理の方も含めてあてはまる方すべて）

	人数	%	有効%	累積%
1 夫または妻	109	50.7	51.9	
2 子供	73	34.0	34.8	
3 父母	35	16.3	16.7	
4 兄弟姉妹	16	7.4	7.7	
5 祖父母	2	0.9	1.0	
6 孫	1	0.5	0.5	
7 恋人	14	6.5	6.6	
8 一人暮らし	50	23.3	23.8	
9 その他	5	2.3	2.4	
有効回答計	209	97.2	100.0	
999 無回答	6	2.8		
合計	215	100.0		

平均の比較（%）

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 夫または妻	51.9	46.8	55.0	30.1	69.6	0.0	97.3
2 子供	34.8	30.4	37.4	18.3	47.3	4.1	61.6
3 父母	16.7	11.5	19.8	26.1	9.8	30.9	4.5
4 兄弟姉妹	7.7	2.6	10.7	16.3	0.9	14.4	1.8
5 祖父母	1.0	1.3	0.8	2.2	0.0	1.0	0.9

6 孫	0.5	1.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9
7 恋人	6.6	11.3	3.8	12.8	1.8	14.3	0.0
8 一人暮らし	23.8	29.1	20.6	29.0	19.6	49.5	1.8
9 その他	2.4	1.3	3.1	3.3	1.8	4.1	0.9

問 17 あなたは現在、結婚していますか（○は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
0 結婚していない	99	46.0	46.7	46.7
1 結婚している	113	52.6	53.3	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

問 18 あなたは、現在の配偶者または恋人に、どのような魅力を感じましたか（現在いない場合
はもっとも最近の方について）（○はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 愛情	110	51.2	51.9	
2 人柄や価値観	157	73.0	74.1	
3 容姿	56	26.0	26.4	
4 運命	52	24.2	24.5	
5 学歴	21	9.8	9.9	
6 職業	28	13.0	13.2	
7 経済力	37	17.2	17.5	
8 家柄	14	6.5	6.6	
9 その他	9	4.2	4.2	
99 配偶者、恋人はこれからみつける	23	10.7	10.8	
有効回答計	212	98.6		
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

その他：「気持ち落ち着くため」「これから先もなし」、「文字が上手」「若気の至りで反省」「忘れてしまいました」、具体的記述なし4ケース。

平均の比較（％）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 愛情	51.9	51.9	51.9	52.1	51.3	38.4	63.7
2 人柄や価値観	74.1	74.1	74.0	73.4	75.2	65.7	81.4
3 容姿	26.4	40.7	17.6	26.6	25.7	25.3	27.4
4 運命	24.5	29.6	21.4	20.2	28.3	17.2	31.0
5 学歴	9.9	12.3	8.4	8.5	11.5	7.1	12.4
6 職業	13.2	9.9	15.3	13.8	13.3	11.1	15.0
7 経済力	17.5	8.6	22.9	14.9	20.4	12.1	22.1
8 家柄	6.6	8.6	5.3	6.4	7.1	5.1	8.0
9 その他	4.2	3.7	4.6	3.2	4.4	3.0	5.3
99 配偶者、恋人はこれから見つける	10.8	9.9	11.5	14.9	8.0	23.2	0.0

相関係数 (*有意確率 5%未満, **1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 愛情								
2 人柄や価値観	.356**							
3 容姿	.256**	.135*						
4 運命	.154*	.087	.181**					
5 学歴	.130	.016	.231**	.105				
6 職業	.013	.167*	.082	.037	.337**			
7 経済力	.070	-.011	.006	.056	.347**	.261**		
8 家柄	.104	.114	.228**	.157*	.230**	.345**	.078	

問 19 あなたは、武蔵野市に通算してどれくらい住んでいますか (〇は 1 つ)

	人数	%	有効%	累積%
0 9 年以下	90	41.9	42.5	42.5
1 10 年以上	49	22.8	23.1	65.6
2 20 年以上	34	15.8	16.0	81.6
3 30 年以上	26	12.1	12.3	93.9
4 40 年以上	13	6.0	6.1	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

問 20 あなたの性別を、お聞かせください (〇は 1 つ)

	人数	%	有効%	累積%
0 女	131	60.9	61.8	61.8
1 男	81	37.7	38.2	100.0
有効回答計	212	98.6	100.0	
999 無回答	3	1.4		
合計	215	100.0		

問 21 あなたの年齢を、お聞かせください (〇は 1 つ)

	人数	%	有効%	累積%
2 20 代	34	15.8	16.3	16.3
3 30 代	61	28.4	29.2	45.5
4 40 代	47	21.9	22.5	67.9
5 50 代	34	15.8	16.3	84.2
6 60 代	33	15.3	15.8	100.0
有効回答計	209	97.2	100.0	
999 無回答	6	2.8		
合計	215	100.0		

問 22 あなたの現在の主な仕事は、どれにあたりますか（○は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 自営業主, 自由業者, 家族従業員, 内職	22	10.2	10.4	10.4
2 正社員, 公務員	85	39.5	40.3	50.7
3 派遣社員, 契約社員, 嘱託社員	20	9.3	9.5	60.2
4 パート, アルバイト, 臨時雇用	28	13.0	13.3	73.5
5 専業主婦, 主夫	28	13.0	13.3	86.7
6 学生	6	2.8	2.8	89.6
7 無職	20	9.3	9.5	99.1
8 その他	2	0.9	0.9	100.0
有効回答計	211	98.1	100.0	
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

問 23 現在仕事をしている方は、どのような仕事をしていますか、どこに分類できるか分からない場合は、7 に○をつけて、具体的な仕事内容を書いてください（○は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 農林水産業	1	0.5	0.5	0.5
2 現場職	10	4.7	4.7	5.2
3 サービス・販売職	35	16.3	16.6	21.8
4 事務職	43	20.0	20.4	42.2
5 専門職	58	27.0	27.5	69.7
6 管理職	9	4.2	4.3	73.9
7 その他	1	0.5	0.5	74.4
99 現在仕事をしていない	54	25.1	25.6	100.0
有効回答計	211	98.1	100.0	
999 無回答	4	1.9		
合計	215	100.0		

問 24 かりに現在の日本社会を上から下まで5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入ると思いますか（○は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 下	11	5.1	5.3	5.3
2 中の下	51	23.7	24.6	30.0
3 中の中	89	41.4	43.0	72.9
4 中の上	51	23.7	24.6	97.6
5 上	5	2.3	2.4	100.0
有効回答計	207	96.3	100.0	
999 無回答	8	3.7		
合計	215	100.0		

平均の比較（1～5 を点数とした平均）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
階層帰属意識	2.9	2.8	3.0	2.9	3.0	2.6	3.2

問 25 あなたが最後に通った学校は、以下のどれにあたりますか（中退・通学中含む）（○は 1 つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 中学校	4	1.9	1.9	1.9
2 高校	35	16.3	16.4	18.3
3 短大・高専	31	14.4	14.6	32.9
4 専門学校	29	13.5	13.6	46.5
5 大学・大学院	114	53.0	53.5	100.0
有効回答計	213	99.1	100.0	
999 無回答	2	0.9		
合計	215	100.0		

問 26 あなたのお宅の収入は、過去 1 年間でどれくらいでしたか（税込み）。他の家族の収入、年金、副収入、臨時収入も含めてください（○は 1 つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 0～499 万円	74	34.4	35.7	35.7
2 500～999 万円	66	30.7	31.9	67.6
3 1000～1499 万円	45	20.9	21.7	89.4
4 1500 万円以上	22	10.2	10.6	100.0
有効回答計	207	96.3	100.0	
999 無回答	8	3.7		
合計	215	100.0		

自由記述の有無

	人数	%	有効%	累積%
なし	188	87.4	87.4	87.4
あり	27	12.6	12.6	100.0
合計	215	100.0	100.0	

B 自由回答

明らかな誤字以外は、原文のままとなっています。ただし、プライバシーに関わる部分は除いてあります。

1 武蔵野市について

- ・老夫婦なので老後の不安でいっぱいです。体が動けるうちはボランティアなどに参加しているので、地域でボランティアをした量を貯蓄する形を作って自分が必要な時にそれを使える組織作りを考えていただきたい。助け合いがこれからの人生に励みと生きがいがある暮らしに必要だと思います（50代女性）
- ・市政に対しての質問事項が多くあると良かった（60代男性）

2 成蹊大学について

- ・成蹊大学の並木はいつみてもきれいですね（30代男性）
- ・老荘セミナーで講義にお出でになっていた大久保洋子先生はお元気でしょうか。成蹊大通りを通る度お逢いしたいなァと思い乍ら懐かしく面白かった講義を思い出します。大学の先生方はどんどん市民の為にその知識を広められたら嬉しいと思います（60代女性）
- ・よく大学の前を通ります。あのすばらしい並木はずっと残してほしいと思います。大学の中に入ったことはありませんが、校舎があって面白い建物があるのは外からでもわかります。文化祭だけでなくもっと開かれたキャンパスや大学にして欲しいが、最近の社会事情（犯罪）などを考えると難しいと思う。地域住民と大学を結ぶすばらしいアイデアがあればと思っています。武蔵野市の住民で幸せを感じています（30代男性）
- ・武蔵野地域にある大学としてさらに充実されることを願います（40代女性）
- ・桜祭り以外にも、園内に入れる機会を作って頂きたい。小学校の図書館等も利用出来たら・・・と思います（40代女性）
- ・大学生の通学マナーをご指導ください。自転車で車道の右側通行等も見られます。大学生に対して本来学校が指導すべきことではないと重々承知しておりますが（40代女性）

3 成蹊大学の学生について

- ・大学生門前の交差点（ローソン前）がいつも学生（大中小含む）で前を通ることができません。直進したいのに信号が青になってから通ったりと不便に通っています。もっと学生にはマナーを持って登校してほしいです（20代女性）
- ・道いっぱいになって歩くのをやめて下さい（20代女性）

- ・夕方、大正通りを広がって歩く学生が多く、自転車で通勤や買い物をしている者には、とても邪魔となっています。おしゃべりをしていて道をあけてくれないことが多く、正直腹が立ちます。パート帰りには少しでも早く家に帰って食事のしたくをしたいと思っているので、時々学校に電話しようかとまで思っています。よい機会なので生徒さん達に注意を！（50代女性）
- ・私が子供のころ自宅に医学部進学課程の学生さんが住んでいました。品のよい、子供心にも紳士を感じました。最近の学生さんは、自由というのか、品格に欠ける気がします。昔のすばらしさは今いずこに？（60代男性）
- ・昨年、娘が自転車で中央図書館に行く途中、3～4人の女子学生が横一列に歩いて、ベルを鳴らしてもよけてはくれず、しかたなく車道に出たら正面からスピードを出したおばさんの自転車と接触し、指の骨にヒビがはいるケガをしました。私も大学付近を通る時、困ることがあります。周りに注意をして、配慮を持って欲しいものです。この意見は多くの人が思っている事ようです（50代女性）

4 この調査について

- ・バラエティに富んで、楽しかった。成蹊大学が武蔵市民との係わり合いに対してこのようなアンケートをしてくれて好感を持ちました。図書カードありがとうございました（60代男性）
- ・最終結果を知りたい（30代男性）
- ・結果どのような集計になったかを知る事はできるのか？（20代女性）
- ・問14 学校生活での評価基準を「楽しさ」に設定してあるのには少々違和感を持ちました。学校とは”社会人”として生きていくために様々なことを学ぶ場であり、もちろんその時代にしか出来ない楽しいことも必要ですが、生きるためには自分が好きでなくとも、楽しくないことで時には我慢してやり遂げることが大切であることを学ぶ場であると思うからです（特に小学校から高校）この設問”有意義であったか”と聞かれたら、私は”YES”と答えられたと思います（50代女性）
- ・幼稚園の記憶などは覚えていないので「覚えていない」欄があってもよいのではないのでしょうか。図書カードありがとうございました（30代女性）
- ・封筒を変更したほうが良いと思いました。最初、入学案内かと思いました（30代男性）
- ・質問の意図が不明（アンケートの手法のひとつなのかもしれないが）、調査の本当の目的を知らせてほしい。アンケートの分析結果についてHPなどで公開し、回答者にアクセスできるようにするなどしてほしい（40代男性）
- ・恋人いない人にはつらい質問がありました。選択肢をはなすとか（問16）など（20代男性）
- ・問24 あなた自身は、経済的なことなのか心理的なことなのか。問26にあなたのお宅の収入という項目があり（隣接）、経済的なことだとすれば自分自身の収入や仕事に焦点を当てるべきか、心理的なことだとすれば私個人の豊かさなのか、家族やパートナーとの関係性を通した満足度なのか答えるのに悩みました。最終的には総合的に検討しましたが、設問

のし方にひと工夫をお願いいたします。問 22 仕事＝収入を得ているということですが、
無償で弱者の相談や世話をさせていただいている人々がいっぱいいます。そういうカテゴ
リーも今の世の中に必要ではないでしょうか（50 代女性）

C 調査票と督促状

注意：実査では調査票は A4 判であった。



調査実施・お問い合わせ先：成蹊大学 社会調査士課程室

代表：文学部准教授，専門社会調査士 こばやし じゅん 小林 盾

Tel 0422-37-3972 月曜，木曜10～17時

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

◆この調査の目的について

- ・この調査は，武蔵野市民のみなさんが，地域や生活についてどのようにお考えかを調べています。みなさんからの回答を集計することで，武蔵野市のよりよい未来を考えます。
- ・2006年度に始まり，今回で4回目になります。成蹊大学で「社会調査実習」という授業の一環として行っています。強制ではありませんが，どうかご理解のうえご協力をお願いいたします。
- ・お礼として図書カードを同封しました。ご利用ください。

◆どうして私が選ばれたのですか？

- ・調査対象者のみなさんは，22歳から69歳までの武蔵野市民300人です。
- ・個人情報保護法に基づいて市役所で審査を受けた結果，住民基本台帳の閲覧が許可されました。「プライバシーに関わる個人情報は決して漏らさない」という誓約書を提出したうえで，「何人おき」という形で個人を抽出しました。

◆私のプライバシー保護はどうなっていますか？

- ・無記名でお答えいただきますので，「どなたが回答したのか」は一切わかりません。
- ・みなさんのプライバシーは，個人情報保護法に基づいて厳重に管理します。調査対象者リストとアンケート用紙は，調査が終わりしだいシュレッダーで廃棄します。

◆どのように回答と返送をすればよいですか？

- ・回答は10分ほどで終わります。無記名（匿名）でお答えください。
- ・ほとんどの場合，あなたのお考えにもっとも近いものを選んで，「○」をつけていただきます。

例

①	ある
2	ない

ある	ない
1	②

- ・返信用封筒に入れてご投函ください。差出人住所・氏名は記入しないでください。

恐れいりますが，7月21日（火）までにご返送ください

◆調査結果はどのように公開されるのですか？

- ・2010年4月ごろ報告書として公開します。市役所，市内図書館にも提出します。
- ・これまでの報告書は，市役所，市内図書館，成蹊大学図書館，成蹊大学ホームページなどでご覧いただけます。

まず、あなたと吉祥寺との関わりについて、おたずねします

問1 あなたはこれまで、吉祥寺駅前のハーモニカ横丁にいったことがありますか（○は1つ）

1 ある	0 ない
------	------

問2 あなたは、ハーモニカ横丁についてどのようなイメージを持っていますか（○はいくつでも）

1 フラッと立ちよれる	4 昼に活気がある	7 吉祥寺の象徴といえる
2 迷路のよう	5 夜に活気がある	8 これからも残ってほしい
3 昭和の雰囲気が残る	6 いくとワクワクする	99 どれも当てはまらない

つぎに、武蔵野市での生活について、おたずねします

問3 あなたは以下のことを、どれくらいしますか（○はそれぞれ1つ）

	ほぼ毎日	週1回くらい	月1回くらい	年に数回	したことはある	まったくない
ア) コミュニティセンターに行く	5	4	3	2	1	0
イ) 市内の寺院・神社・教会に行く	5	4	3	2	1	0
ウ) ムーバスに乗る	5	4	3	2	1	0
エ) 市役所や市政センターに行く	5	4	3	2	1	0

問4 あなたはこれまで、どのようにコミュニティセンターを利用したことがありますか（○はいくつでも）

1 教室や講演会に参加	4 勉強する	7 運営に関わる
2 イベントに参加する	5 部屋を借りる	8 その他（具体的に ）
3 フラッと立ちよる	6 住民総会に参加する	99 利用したことがない

問5 あなたはこれまで、市内の寺院・神社・教会でどのようなことをしたことがありますか（○はいくつでも）

1 初詣	5 バザーに参加	9 散歩する
2 お墓参り	6 クリスマスに参加	10 その他（具体的に ）
3 お葬式に参加	7 教室、習い事、講演に参加	99 どれもしたことがない
4 お祭りに参加	8 定期的な集会に参加	

問6 あなたは、武蔵野市の以下の点について、満足していますか（〇はいくつでも）

1 自然環境	4 住民の多様さ（年齢、暮らし向き、国籍など）	6 歴史や伝統
2 鉄道やバスの公共交通	5 市政への住民参加	99 どれにも満足していない
3 地域の人同士の交流		

問7 ムーバスについて今後、どのような改善をしてほしいですか（〇はいくつでも）

1 路線が増える	4 料金が安くなる	6 バスモやスイカが使える
2 遅い時間まで運行する	5 ムーバス同士の乗りつぎが割引になる	7 その他（具体的に ）
3 本数が増える		99 現状のままでよい

あなたの普段の生活について、おたずねします

問8 あなたのお宅では、以下の食料品を常備していますか（〇はいくつでも）

1 牛乳	3 カップ麺	5 サプリメント
2 コーラなどの甘い飲み物	4 乾燥ワカメなどの海草	99 どれも常備はしていない

問9 あなたは以下のことを、1週間にどれくらいしますか（〇はそれぞれ1つ）

	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	それ以下
ア) 仕事、パート、バイトに行く	7	6	5	4	3	2	1	0
イ) テレビを見る	7	6	5	4	3	2	1	0
ウ) テレビでスポーツ観戦する	7	6	5	4	3	2	1	0
エ) 1時間以上あるく	7	6	5	4	3	2	1	0
オ) 買い物でエコバッグを使う	7	6	5	4	3	2	1	0
カ) 家で料理をする	7	6	5	4	3	2	1	0
キ) 夫婦や恋人と二人だけで過ごす	7	6	5	4	3	2	1	0

問10 お宅には現在、（家族のものも含めて）以下の家電がいくつありますか（〇はそれぞれ1つ）

	6個以上	5個	4個	3個	2個	1個	ない
ア) ブラウン管テレビ	6	5	4	3	2	1	0
イ) 薄型テレビ	6	5	4	3	2	1	0
ウ) エアコン	6	5	4	3	2	1	0
エ) テレビゲーム機（携帯型含む）	6	5	4	3	2	1	0
オ) こたつ	6	5	4	3	2	1	0

問11 あなたは、環境にかんする武蔵野市の取り組みについて、どれを聞いたことがありますか
(○はいくつでも)

- 1 パーク・アンド・バスライド（マイカーとムーバスを組みあわせる）
- 2 武蔵野打ち水大作戦（夏に道路に水をまく）
- 3 武蔵野ごみチャレンジ700グラム（1人1日のごみを700グラム以下にする）
- 4 朝一番隊（日曜朝8～9時に駅前でごみ拾いをする）
- 99 どれも聞いたことがない

問12 あなたはこれまで、環境に配慮してどのようなことをしたことがありますか（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 パーク・アンド・バスライド | 7 夏にエアコンを28度以上にする（クールビズ） |
| 2 打ち水 | 8 冬にエアコンを20度以下にする（ウォームビズ） |
| 3 1日のごみを700グラム以下にする | 9 通勤通学にマイカーを使わない |
| 4 朝一番隊に参加する | 10 その他（具体的に） |
| 5 買い物でエコバッグを使う | 99 どれもしたことがない |
| 6 省エネルック（半袖スーツ）を着る | |

問13 あなたは現在、以下のことについて、どれくらい幸せと感じていますか（○はそれぞれ1つ）

	幸せ	やや 幸せ	やや 不幸	不幸	仕事を していない
ア) 武蔵野市に住んでいること	4	3	2	1	
イ) 生活全般	4	3	2	1	
ウ) 仕事（パート、バイトも）	4	3	2	1	99
エ) 健康	4	3	2	1	
オ) 家族	4	3	2	1	
カ) 友人関係	4	3	2	1	
キ) 現在の家計状況	4	3	2	1	

あなたのこれまでの生活について、おたずねします

問14 あなたにとって、これまでの学校生活は、どれくらい楽しかったですか（○はそれぞれ1つ）

	楽しかった	やや 楽しかった	やや楽しく なかった	楽しく なかった	いって いない
ア) 幼稚園、保育園	4	3	2	1	99
イ) 小学校	4	3	2	1	
ウ) 中学校	4	3	2	1	
エ) 高校	4	3	2	1	99
オ) 大学	4	3	2	1	99

問15 あなたの中学時代で、どのようなことが「よい思い出」でしたか（〇はいくつでも）

1 入学式	5 給食、お弁当	9 遠足	13 高校受験、就職活動
2 登下校	6 部活動	10 球技・体育大会	14 卒業式
3 席替え	7 友人	11 文化祭	99 特になし
4 クラス替え	8 恋愛	12 修学旅行	

あなたのご家族について、おたずねします

問16 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか（〇は義理の方も含めてあてはまる方すべて）

1 夫または妻	4 兄弟姉妹	7 恋人
2 子供	5 祖父母	8 一人暮らし
3 父母	6 孫	9 その他（具体的に ）

問17 あなたは現在、結婚していますか（〇は1つ）

1 結婚している 0 結婚していない

問18 あなたは、現在の配偶者または恋人に、どのような魅力を感じましたか（現在いない場合はもっとも最近の方について）（〇はいくつでも）

1 愛情	5 学歴	9 その他（具体的に ）
2 人柄や価値観	6 職業	99 配偶者、恋人はこれからみつける
3 容姿	7 経済力	
4 運命	8 家柄	

最後に、アンケート結果の整理のために、あなたご自身についておたずねします

問19 あなたは、武蔵野市に通算してどれくらい住んでいますか（〇は1つ）

0 9年以下	1 10年以上	2 20年以上	3 30年以上	4 40年以上
-----------	------------	------------	------------	------------

問20 あなたの性別を、お聞かせください（〇は1つ）

1 男 0 女

問21 あなたの年齢を、お聞かせください（〇は1つ）

2 20代	3 30代	4 40代	5 50代	6 60代
----------	----------	----------	----------	----------

問22 あなたの現在の主な仕事は、どれにあたりますか（〇は1つ）

1 自営業主、自由業者、家族従業員、内職	現在仕事を していない {	5 専業主婦、主夫
2 正社員、公務員		6 学生
3 派遣社員、契約社員、嘱託社員		7 無職
4 パート、アルバイト、臨時雇用		8 その他（具体的に ）

問23 現在仕事をしている方は、どのような仕事をしていますか。どこに分類できるか分からない場合は、7に〇をつけて、具体的な仕事内容を書いてください（〇は1つ）

99 現在仕事をしていない（主婦、学生、無職など）	
1 農林水産業	
2 現場職（職人、建設作業員、工場作業員、タクシー運転手、警備員、清掃員など）	
3 サービス・販売職（ウェイター、ウェイトレス、販売員、美容師、営業員、飲食店主など）	
4 事務職（総務、経理、人事、企画、受付、入力、営業補助など）	
5 専門職（医師、看護師、教師、編集者、税理士、コンサルタント、技術者など）	
6 管理職（社長、企業や官公庁の課長以上、団体の役員、議員など）	
7 その他（具体的に ）	

問24 かりに現在の日本社会を上から下まで5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入るとおもいますか（〇は1つ）

5 上	4 中の上	3 中の中	2 中の下	1 下
--------	----------	----------	----------	--------

問25 あなたが最後に通った学校は、以下のどれにあたりますか（中退・通学中含む）（〇は1つ）

1 中学校	3 短大・高専	5 大学・大学院
2 高校	4 専門学校	6 その他（具体的に ）

問26 あなたのお宅の収入は、過去1年間でどれくらいでしたか（税込み）。他の家族の収入、年金、副収入、臨時収入も含めてください（〇は1つ）

1 0～499万円	2 500～999万円	3 1000～1499万円	4 1500万円以上
--------------	----------------	------------------	---------------

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れてお送りください

もしこの調査や成蹊大学についてご意見、ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。可能な限り、関係者に伝えます

督促状

武蔵野市民の皆さまへ アンケートご協力への再度のお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、私ども成蹊大学社会調査士課程室は、武蔵野市役所から許可をいただき、正規の授業の一環として「第4回 地域と生活についての武蔵野市民調査」を実施しております。地域社会の実情と課題を明らかにするために、一人でも多くの方々のご支援をたまわりたいと考えております。返送期日は7月21日(火)でしたが、多少でしたら期日を過ぎても結構ですので、どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご返送くださいますよう改めてお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名で回収しておりますので、調査対象の皆様全員に本状をお送りしています。すでにご回答いただいているの方々にはお詫び致しますとともに、調査へのご協力に心からお礼申し上げます。

末筆ながら、皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。



謹白

2009年7月

成蹊大学社会調査士課程室 小林盾

成蹊大学社会調査実習 2009 年度報告書

——第 4 回 地域と生活についての武蔵野市民調査——

発行日 2010 年 10 月 1 日

監 修 成蹊大学社会調査士課程

編 集 小林盾, 相澤真一

発 行 成蹊大学社会調査士課程

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

電話 0422-37-3972

印 刷 大和メディアクリエイティブ
